



いわき市立 美術館年報

令和元年度

目 次

沿	革	2
展覧会事業	常設展	今日の美術 —ART TODAY(前期・後期)—
	企画展	蜷川実花展 —虚構と現実の間に—
		体験！いわ美 ～コレクションによるアートプログラム～
		バリ世紀末 ベル・エボックに咲いた華 サラ・ベルナルの世界展
		パナソニック汐留美術館所蔵 ジョルジュ・ルオー展
		光ミュージアム所蔵 美を競う 肉筆浮世絵の世界
	小企画展	いわき市小・中学生版画展
		ニューアートシーン・イン・いわき 菅野博子展
		亀倉、ウォーホル、リクテンスタイン… 現代美術のアスリートたち
	共催展	第49回いわき市民美術展覧会
普及事業	移動美術館	42
	講演会	43
	美術講座	44
	ギャラリー・トーク	44
	ワークショップ	45
	実技講座	46
	公開制作	46
	映像鑑賞会	47
	コンサート&パフォーマンス	47
	出版	48
	実技講習室の公開	49
	図書室の公開	49
	実習生の受け入れ	49
	共催事業	50
所蔵資料	美術作品収蔵状況	51
	美術作品貸出状況	52
	資料の購入等に関する状況	52
	新収蔵作品	53
管理・運営	美術館関係法規 いわき市立美術館条例	55
	美術館関係法規 いわき市立美術館管理規則	57
	利用者一覧	61
	令和元年度美術館費当初予算	63
	名簿	64
	施設案内	65
	利用案内	66

沿革

昭和53年 2月	いわき市民ギャラリー主催による「ヘンリームーア展」が開催され盛況をおさめたことが市民の反響をよび、市立美術館建設の機運が高まる
昭和53年 6月	市総合計画の中で、前期に美術館建設計画を盛り込む
昭和54年 5月	美術館建設基本構想委員会を設置、委員 6 人を委嘱
昭和54年 8月	同委員会より美術館の基本構想について答申
昭和54年11月	基本構想を具体的に検討するため、市民20名による美術館建設審議会を設置
昭和55年 3月	美術品選定評価委員会を設置、委員 5 名を委嘱
昭和55年 9月	美術館・博物館建設準備室を設置
昭和55年 9月	美術館建設審議会から美術館建設について答申
昭和55年10月	基本設計は、指名競争設計方式で行うことを決める
昭和56年 1月	美術館建設基本設計審議会を設置、委員14名を委嘱
昭和56年 1月	同委員会で佐藤武夫設計事務所の案を選定
昭和56年 9月	美術館実施計画書の提出
昭和56年12月	市議会で美術館工事請負契約を決議
昭和56年12月	建設工事着工
昭和58年11月	竣工
昭和58年12月	市議会において美術館条例を決議
昭和59年 4月	美術館組織発足
昭和59年 4月28日	開館
昭和59年 4月29日	一般公開
昭和59年10月10日	いわき市立美術館友の会発足
平成 3 年 4月	常設展の観覧料を祝日無料とする
平成 4 年 4月	企画展の観覧をもって常設展観覧無料とする 7 月、8 月の金曜日の夜間開館開始
平成 4 年10月	美術館協議会より「いわき市立美術館振興策」が提出される
平成 5 年 1月	毎月第 2 土曜日を市内の小中学生の常設展の観覧無料とする
平成 7 年 4月	毎月第 2、第 4 土曜日を市内の小中学生の常設展の観覧無料とする
平成12年 3月	美術館協議会より「いわき市立美術館第 2 次振興策」が提出される
平成14年 4月	障害者、高齢者の観覧を無料とする。また、市内の児童生徒などが土曜日、日曜日に観覧する場合、および学校の教育活動などで観覧する場合の観覧料を無料とする
平成15年 9月～12月	大規模改修工事（休館）
平成19年 3月～ 7月	アスベスト除去工事（休館）
平成23年 3月11日	東日本大震災
平成25年 9月～平成26年11月	空気調和設備改修工事（休館）
平成28年 4月	行政組織の改革等に伴い文化スポーツ業務が市長部局に移管。美術館事業は補助執行により市長部局文化振興課の所管となる



美術館外観

今日の美術 —ART TODAY (前期・後期)—

前期は、「伝統からの脱却—1960年代の動向」と題し、抽象表現主義以降の1960年代から1970年代にかけて各地で生まれた複数の美術の動向を紹介。フランスの「ヌーヴォー・レアリズム」「シュポール／シュルファス」、イタリアの「アルテ・ポーヴェラ」、日本の「もの派」の作品を展示し、時期を前後して発生したこれらの動向の類似点や相違点に着目した。

「彫刻との語らい」と題した後期展では、彫刻のあり方、彫刻がはらむ問題に向き合ってきた現代の作家たちの作品を紹介。長澤英俊、土谷武、若林奮など広い空間を使う大型作品を久しぶりに設置したほか、彫刻に関連するドローイングも展示し、素材もテーマも異なる多様な彫刻作品に親しむきっかけとな

るような空間の演出を試みた。

小企画展前期Ⅰは、前年度に新しく収蔵された若松光一郎、佐藤忠良、中西一路、北代省三らの作品と既収蔵品をあわせて展示した「平成30年度新収蔵作品を中心に」、前期Ⅱ以降は、「収蔵作家セレクション」と題して特定の作家にスポットをあてた特集展示を行った。「収蔵作家セレクション」では、当館が日本の美術に大きな影響を与えた重要な作家の一人と位置づけ、体系だった収集に努めてきた高松次郎、中西夏之、村上友晴、戦後のいわきの美術を牽引した若松光一郎、鈴木新夫をとりあげ、同作家の作品を複数展示することによってそれぞれの美術をじっくり検証する機会とした。

会 期 前期Ⅰ 2019年 4月 2日(火)～2019年 6月23日(日)
前期Ⅱ 2019年 6月25日(火)～2019年 9月23日(月・祝)
後期Ⅰ 2019年 9月25日(水)～2019年12月22日(日)
後期Ⅱ 2019年12月24日(火)～2020年 3月31日(火)
会 場 いわき市立美術館 常設展示室
主 催 いわき市立美術館



作品リスト

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	素材・技法	サイズ(cm)
平成 31 年度常設展前期Ⅰ 出品リスト (2019 年 4 月 2 日～6 月 23 日)						
■伝統からの脱却—1960 年代の動向						
1	セザール	1921-1998	コンプレッション 2	1976	カードボード	100.2×90.2
2	アルマン	1928-2005	ダマスカスの夫人の腰	1974	コントラバス、弓、コンクリート	164×124×13
3	イヴ・クライン	1928-1962	火の絵画	1961	焦げた厚紙、板	132×64
4	ジュゼッペ・ペノーネ	1947-	川になる 3	1992	大理石	各30×40×30 (2点組)
5	ジュゼッペ・ペノーネ	1947-	石を彫ることは川になることである	1981	油性インク、鉛筆・紙	34.3×50.0
6	ジュゼッペ・ペノーネ	1947-	海の石のように山の石を彫る	1981	鉛筆、コーヒー・紙	22.5×27.5
7	クロード・ヴィアラ	1936-	無題	1979-80	アクリル彩、帆布	212×595
8	李 禹煥	1936-	刻みより	1973	木	137.3×188
9	菅木志雄	1944-	木のしきり	1983	木	230×1200×800
10	関根伸夫	1942-	位相一大地	1986	スクリーンプリント・紙	100×200
11	小清水漸	1944-	作業台「水」	1965	木、水	61×120×79
■平成 30 年度新収蔵作品を中心に						
12	若松光一郎	1914-1995	夕景	1945	油彩・カンヴァス	31.5×41
13	若松光一郎	1914-1995	風景	1944頃	木炭・紙	31×41.2
14	若松光一郎	1914-1995	逆光の自画像	1946	油彩・カンヴァス	45×38
15	若松光一郎	1914-1995	漁港	不詳	油彩・板	15.5×22.7
16	若松光一郎	1914-1995	鈴木新夫	1944	コンテ、水彩、バステル・紙	36.3×26.6
17	若松光一郎	1914-1995	桜島	1974	水彩、墨・紙	45.9×60.5
18	若松光一郎	1914-1995	坑夫たち	1957	油彩・カンヴァス	145×118
19	若松光一郎	1914-1995	スケッチブック (1954-55)	1954-55	鉛筆、ペン、水彩・紙	12.5×17.3
20	若松光一郎	1914-1995	スケッチブック (1956)	1956	鉛筆、ペン、水彩・紙	26×18.7
21	若松光一郎	1914-1995	スケッチブック (1970-71)	1970-71	鉛筆、ペン、水彩・紙	16×23.2
22	若松光一郎	1914-1995	スケッチブック (1971)	1971	鉛筆、ペン、水彩・紙	13.9×17.5
23	若松光一郎	1914-1995	スケッチブック (1974)	1974	鉛筆、ペン、水彩・紙	14×17.9
24	若松光一郎	1914-1995	スケッチブック (1979)	1979	水彩・紙	22×14.8
25	若松光一郎	1914-1995	スケッチブック (1979)	1979	木炭、コンテ、ペン、クレヨン、水彩・紙	17.6×24.7
26	脇田 和ほか 14 人		すまい・海石絵のコレクション	1989頃 -2015	石に彩色	全28点
27	佐藤忠良	1912-2011	母子想	1952	鉛筆、水彩・紙	16×7.8
28	佐藤忠良	1912-2011	常磐の大工	1956	セメント	22.5×16.5×24
29	佐藤忠良	1912-2011	フミコ	1981-82	ブロンズ	32.5×18×21
30	佐藤忠良	1912-2011	中学三年生・竜	1984	ブロンズ	25.5×17×21.5
31	中西一路	1907-1981	小名の濱小屋	1940	墨、顔料・紙	194.5×181
32	中西一路	1907-1981	面	1962	顔料・カンヴァス	72.7×90.2
33	北代省三	1921-2001	ヒステリシス・フェノメノン	1948 (1989再制作)	油彩・カンヴァス	116.7×116.7
34	北代省三	1921-2001	デジャ・ビュⅡ	1987-94	木、ラッカー、油彩、ウレタン塗装	42×90×10
35	北代省三	1921-2001	エントロピー	不詳	インク、水彩・紙	25.6×28.5
36	朝倉 摂	1922-2014	古河好間	1956	鉛筆・紙	40.9×32.5
37	朝倉 摂	1922-2014	スケッチブック (1956 福島古河好間、小田炭坑)	1956	鉛筆・紙	41×33.5

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	素材・技法	サイズ(cm)
令和元年度常設展前期Ⅱ出品リスト (2019年6月25日～9月23日)						
■伝統からの脱却—1960年代の動向						
1	セザール	1921-1998	コンプレッション 2	1976	カードボード	100.2×90.2
2	アルマン	1928-2005	ダマスカスの夫人の腰	1974	コントラバス、弓、コンクリート	164×124×13
3	イヴ・クライン	1928-1962	火の絵画	1961	焦げた厚紙、板	132×64
4	ジュゼッペ・ペノーネ	1947-	川になる 3	1992	大理石	各30×40×30 (2点組)
5	ジュゼッペ・ペノーネ	1947-	石を彫ることは川になることである	1981	油性インク、鉛筆・紙	34.3×50.0
6	ジュゼッペ・ペノーネ	1947-	海の石のように山の石を彫る	1981	鉛筆、コーヒー・紙	22.5×27.5
7	クロード・ヴィアラ	1936-	無題	1979-80	アクリル彩、帆布	212×595
8	李 禹煥	1936-	刻みより	1973	木	137.3×188
9	菅木志雄	1944-	木のしきり	1983	木	230×1200×800
10	関根伸夫	1942-2019	位相—大地	1986	スクリーンプリント・紙	100×200
11	小清水漸	1944-	作業台「水」	1965	木、水	61×120×79

■収蔵作家セクション vol.1 高松次郎

12	高松次郎	1936-1998	点	1961	油彩・カンヴァス	61.8×42
13	高松次郎	1936-1998	点	1962	紐、ラッカー・木	27.5×22.5
14	高松次郎	1936-1998	線と面	1983	グアッシュ、鉛筆・紙	38.5×57
15	高松次郎	1936-1998	消されゆく円形	1972	水彩、ボールペン・紙	21×20
16	高松次郎	1936-1998	消されゆく正方形	1972	水彩、ボールペン・紙	21×20
17	高松次郎	1936-1998	波 No.572	1969	水彩・紙	24.7×47.2
18	高松次郎	1936-1998	遠近法	1966-67	鉛筆、色鉛筆・紙	35×25.6
19	高松次郎	1936-1998	遠近法	1968	鉛筆、色鉛筆・紙	27.1×39.1
20	高松次郎	1936-1998	遠近法の箱	1967	シルクスクリーン・紙	72.3×48.2
21	高松次郎	1936-1998	遠近法のマラソン	1967	シルクスクリーン・紙	60.5×74.5
22	高松次郎	1936-1998	遠近法のベンチ	1967	シルクスクリーン・紙	76.5×58
23	高松次郎	1936-1998	透視されたベンチ	1967	ラッカー、木	90×220.5×171
24	高松次郎	1936-1998	影 (A)	1964	油彩・合板	170×137×12
25	高松次郎	1936-1998	赤ん坊の影	1980	アクリル彩・カンヴァス	250×310
26	高松次郎	1936-1998	鉄の単体	1971	鉄	1.5×92.7×184
27	高松次郎	1936-1998	紙の単体	1972	紙・布	140.5×240
28	高松次郎	1936-1998	ネットの弛み	1968-69	綿紐	220×220
29	高松次郎	1936-1998	しわのドローイング	1973-75	鉛筆、色鉛筆・紙	53.8×38.8
30	高松次郎	1936-1998	しわのドローイング	1973-75	ペン・紙	53.8×38.8
31	高松次郎	1936-1998	英語の単語	1970	オフセットプリント・紙	72.8×51.5
32	高松次郎	1936-1998	日本語の文字	1970	オフセットプリント・紙	79×54.5

※No. 12, 13 は7月9日より展示

令和元年度常設展後期Ⅰ出品リスト (2019年9月25日～12月22日)

■彫刻との語らい

1	鈴木 実	1930-2002	妻の肖像	1993	木 (米松)、銅、アクリル、 オイルステン	163×53.5×36
2	鈴木 実	1930-2002	裸婦 (芳子)	1958頃	インク・紙	29.3×25.3
3	鈴木 実	1930-2002	裸婦 (芳子)	1958	インク・紙	35.9×25.2
4	鈴木 実	1930-2002	裸婦 (芳子)	1958	鉛筆・紙	35.9×25.2
5	鈴木 実	1930-2002	因果な女	1958	石膏	82.5×60×53.5
6	黒川弘毅	1952-	ゴーレム 21	1986	ブロンズ	59×47.5×50.5

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	素材・技法	サイズ(cm)
7	黒川弘毅	1952-	ゴーレム 22	1986	ブロンズ	52.5×50×30
8	黒川弘毅	1952-	ゴーレム 23	1986	ブロンズ	40×41×18
9	黒川弘毅	1952-	ゴーレム 24	1987-88	ブロンズ	36×84×51
10	アントニー・ゴームリー	1950-	Body & Soul	1990	エッチング・紙	各30×40 (9点組)
11	アントニー・ゴームリー	1950-	見ることを学んでいる	1991	鉛、ファイバーグラス	198.1×48.3× 27.9
12	土谷 武	1926-2004	水—循環するもの	1994	軟銅	245×150×170
13	長澤英俊	1940-2018	ODYSSEUS	1988	大理石、銅	230×500×50
14	若林 奮	1936-2003	所有・雰囲気・振動 —線を含む三角形	1984	油彩、パステル・銅	120×43×43
15	若林 奮	1936-2003	RED FIELD 7	1991	ドライポイント・紙	115.5×130.5
16	若林 奮	1936-2003	WORK No.8-L	1987	鉄	244.5×114×57
17	若林 奮	1936-2003	無題 1	1987	鉛筆、インク、水彩・紙	23×19.3
	若林 奮	1936-2003	無題 2	1987	鉛筆、水彩・紙	23×19.3
	若林 奮	1936-2003	無題 3	1987	鉛筆、インク、水彩・紙	23×19.3
	若林 奮	1936-2003	無題 4	1987	鉛筆、インク、水彩・紙	23×19.3
	若林 奮	1936-2003	無題 5	1987	鉛筆、インク、水彩・紙	23×19.3
	若林 奮	1936-2003	無題 6	1987	鉛筆、インク、水彩・紙	23×19.3
	若林 奮	1936-2003	無題 7	1987	インク・紙	23×19.3
	若林 奮	1936-2003	無題 8	1987	インク・紙	23×19.3
	若林 奮	1936-2003	無題 9	1987	インク・紙	23×19.3
	若林 奮	1936-2003	無題 10	1987	インク・紙	23×19.3
	若林 奮	1936-2003	無題 11	1987	インク・紙	23×19.3
	若林 奮	1936-2003	無題 12	1987	インク・紙	23×19.3

■収蔵作家セクション vol. 2 中西夏之／村上友晴

18	中西夏之	1935-2016	大きな紫のためのノート '82ⅩⅡ18 ～ '83 I 8	1982-83	鉛筆、色鉛筆・紙	各26.4×35.6 (25点組)
19	中西夏之	1935-2016	紫・むらさきⅩⅤ	1982	油彩・カンヴァス	227×181.5
20	中西夏之	1935-2016	韻 '60	1960	ペイント、エナメル、砂・合板	91.6×105.6
21	中西夏之	1935-2016	コンパクト・オブジェ	1962	ポリエステル樹脂、時計など	15×15×23
22	村上友晴	1938-	Untitled	1982-83	油彩・カンヴァス	162×130.5
23	村上友晴	1938-	Book of Hours	1990	鉛筆、アクリル・紙	各81.8×61.6 (8点組)

令和元年度常設展後期Ⅱ出品リスト (2019年12月24日～2020年3月15日)

■彫刻との語らい

1	鈴木 実	1930-2002	妻の肖像	1993	木(米松)、銅、アクリル、 オイルステン	163×53.5×36
2	鈴木 実	1930-2002	芳子	1958頃	鉛筆・紙	35.6×25.2
3	鈴木 実	1930-2002	前掛けをかけた芳子の像	1958	水彩、鉛筆・紙	29.7×24.9
4	鈴木 実	1930-2002	芳子	1958	水彩、インク・紙	28.4×24.2
5	鈴木 実	1930-2002	因果な女	1958	石膏	82.5×60×53.5
6	黒川弘毅	1952-	ゴーレム 21	1986	ブロンズ	59×47.5×50.5
7	黒川弘毅	1952-	ゴーレム 22	1986	ブロンズ	52.5×50×30
8	黒川弘毅	1952-	ゴーレム 23	1986	ブロンズ	40×41×18
9	黒川弘毅	1952-	ゴーレム 24	1987-88	ブロンズ	36×84×51

No.	作家名	生没年	作品名	制作年	素材・技法	サイズ(cm)
10	アントニー・ゴームリー	1950-	見ることを学んでいる	1991	鉛、ファイバーグラス	198.1×48.3×27.9
11	土谷 武	1926-2004	虫Ⅲ -b	1977	軟鋼、鋳鉄	30×50×40
12	土谷 武	1926-2004	内気と外気 B-a	1993	軟鋼	24×34×25
13	土谷 武	1926-2004	水—循環するもの	1994	軟鋼	245×150×170
14	長澤英俊	1940-2018	ODYSSEUS	1988	大理石、銅	230×500×50
15	若林 奮	1936-2003	所有・雰囲気・振動 —線を含む三角形	1984	油彩、パステル・銅	120×43×43
16	若林 奮	1936-2003	RED FIELD 6	1991	ドライポイント・紙	115.5×130.5
17	若林 奮	1936-2003	WORK No.8-L	1987	鉄	244.5×114×57
18	若林 奮	1936-2003	鯉の振動尺Ⅰ-A	1978	ドライポイント、エングレー ヴィング・紙	41.5×165.3
19	若林 奮	1936-2003	鯉の振動尺Ⅰ-B	1978 1994刷り	ドライポイント、エングレー ヴィング・紙	41.5×165
20	若林 奮	1936-2003	ノート・鯉の尾鰭 補遺 水のとどまるところⅠ	1978	ドライポイント・紙	32×32
21	若林 奮	1936-2003	ノート・鯉の尾鰭 補遺 水のとどまるところⅡ	1978	ドライポイント・紙	32×32
22	若林 奮	1936-2003	ノート・鯉の尾鰭 補遺 水のとどまるところⅢ	1978	ドライポイント・紙	32.3×32
23	若林 奮	1936-2003	ノート・鯉の尾鰭 補遺 水のとどまるところⅣ	1978	ドライポイント・紙	44×35
24	若林 奮	1936-2003	ノート・鯉の尾鰭 補遺 水のとどまるところⅤ	1978	ドライポイント・紙	32×32

■収蔵作家セレクション vol.3 鈴木新夫／若松光一郎

25	鈴木新夫	1915-1980	湯わかし	1941	油彩・カンヴァス	72.7×53
26	鈴木新夫	1915-1980	車大工の家	1942	油彩・カンヴァス	111.5×146
27	鈴木新夫	1915-1980	機関庫	1947	油彩・カンヴァス	110×144
28	鈴木新夫	1915-1980	赤い鉄骨	1955	油彩・カンヴァス	130.5×162
29	鈴木新夫	1915-1980	橋のある風景	1966	油彩・カンヴァス	97.5×145.5
30	鈴木新夫	1915-1980	合図する人	1968	油彩・カンヴァス	145×112.5
31	鈴木新夫	1915-1980	炭坑長屋3	1955-56	コンテ・紙	26.5×35.5
32	若松光一郎	1914-1995	石の村	1941	油彩・カンヴァス	112×140.5
33	若松光一郎	1914-1995	秋景	1948	油彩・カンヴァス	96.5×130
34	若松光一郎	1914-1995	室内	1950	油彩・カンヴァス	80×100
35	若松光一郎	1914-1995	古河好間炭砦ズリ山風景	1956	コンテ、水彩、インク・紙	25.8×36
36	若松光一郎	1914-1995	独航船	1960	油彩・カンヴァス	130.5×162
37	若松光一郎	1914-1995	白色雑音	1980	墨、カゼインカラー、油彩、 和紙・カンヴァス	207.3×177
38	若松光一郎	1914-1995	大地の歌1	1985	墨、カゼインカラー、油彩、 和紙・カンヴァス	227×162
39	若松光一郎	1914-1995	大地の歌2	1985	墨、カゼインカラー、油彩、 和紙・カンヴァス	227×182
40	若松光一郎	1914-1995	大地の歌3	1985	墨、カゼインカラー、油彩、 和紙・カンヴァス	227×162
41	若松光一郎	1914-1995	北国の記念碑	1965	墨、カゼインカラー、雲母、 和紙・カンヴァス	162.5×144.8

蜷川実花展—虚構と現実の間に—

90年代の写真家デビュー以来、2001年に木村伊兵衛写真賞を、2006年にはVOCA展で受賞するなど高い評価を得て、映像やデザイン、ファッションの分野へと活躍の幅をひろげてきた蜷川実花。近年では、映画やミュージックビデオ、商品のパッケージデザイン、洋服やグッズの製作でも注目され、その多彩な活動は若い世代を中心に支持されている。

「虚構と現実」をテーマとした本展覧会では、色鮮やかな花々を撮影した《永遠の花》《桜》《PLANT A TREE》、芸能・スポーツなどの著名人を撮影した《Portraits of the Time》、従来と異なる作風で新境地を開いた近作《うつくしい日々》、さらに《INTO FICTION/REALITY》を加えた6つのセクションによって蜷川の写真表現を紹介。蜷川は巡回各会場の建築にあわせた展示を行っており、当館においては、2階ロビーに特設の部屋を作ったり、ガラス面にフィルムを貼ったりするなど、2階のフロア全体を駆使したこれまでにない展示空間を実現させた。工夫を凝らした会場

構成と完成度の高い展示は来場者からの好評を得て口コミで情報が広がり、会場撮影を許可したことによるSNSでの画像拡散の効果も相まって、入場者は当館歴代7位の22,839人を数えた。

展覧会初日にアリオスとの連携事業としてアリオス中劇場で実施した「蜷川実花×後藤繁雄スペシャルトーク」は予約で満席になるなど、蜷川の人気ぶりが伺えた。このほか会期中に、んまつーボスによるダンス・パフォーマンス「偽闘」、地元写真家上遠野真人によるフォトレッスン「センスアップ写真術」を開催した。

会期	2019年4月13日(土)～5月26日(日)
会場	いわき市立美術館2階ロビー、企画展示室
主催	いわき市立美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会、福島民友新聞社、福島中央テレビ
協賛	株式会社日本HP、ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜
協力	富士フィルムイメージングシステムズ、東京リスマチック、フレームマン、東京スタジオ
企画協力	ラッキースター、小山登美夫ギャラリー
企画プロデュース	後藤繁雄+G/P gallery



出品作品

- 1 桜 SAKURA
『桜』（2011 年）より 10 点を使用
- 2 永遠の花 Everlasting Flowers 63 点
『Acid Bloom』（2003 年）、『永遠の花』（2006 年）、『earthly flowers, heavenly colors』（2017 年）より
- 3 Portraits of the Time 34 点
石原さとみ／Ishihara Satomi
森川葵／Morikawa Aoi
小松菜奈／Komatsu Nana
水原希子／Mizuhara Kiko
百田夏菜子（ももいろクローバー Z）／Momota Kanako
栗山千明／Kuriyama Chiaki
椎名林檎／Sheena Ringo
石原さとみ／Ishihara Satomi
重本沙絵／Shigemoto Sae
坂田藤十郎／Sakata Toujyuuro
YUCA
松本幸四郎／Matsumoto Koushiro
羽生結弦／Hanyu Yuzuru
松坂桃李／Matsuzaka Tori
玉城ティナ／Tamashiro Tina
桐谷美玲／Kiritani Mirei
中川翔子／Nakagawa Shoko
hoshiko
長谷川潤／Hasegawa Jun
柴咲コウ／Shibasaki Ko
AMIAYA
秋元梢／Akimoto Kozue
山田葵／Yamada Aoi
大島優子／Oshima Yuko
萬波ユカ／Mannami Yuka
西野七瀬／Nishino Nanase
中川翔子／Nakagawa Shoko
橋本愛／Hashimoto Ai
マメ山田／Mame Yamada
太田莉菜／Ohta Rina
白鵬翔／Hakuho Shou
水原希子／Mizuhara Kiko
松岡モナ／Matsuoka Mona
富永愛／Tominaga Ai
- 4 INTO FICTION/REALITY
『Noir』（2010 年）、『Light of』（2015 年）、未掲載作品より 10 点使用
- 5 うつくしい日々 The days were beautiful 36 点
『うつくしい日々』（2017 年）より
- 6 PLANT A TREE 18 点
『PLANT A TREE』（2011 年）より

見て、考えて、表現して 体験！いわ美

～コレクションによるアートプログラム～

当館所蔵の現代アートの良さやすばらしさに気付いてもらうため、作品展示と作品に関連するアートプログラムを展示室内に設け、観覧者に体験してもらう企画展。70点の作品を11のテーマに分け展示し、それぞれにアートプログラムを設けた。プログラムは、作品を「見て」、そこから「考え」、言葉や制作物により「表現する」という流れで構成し、作品や作者についての簡単なクイズに答えたり、絵をかいたり工作をしたりして作品の技法を体験できるようにした。

会期中の展示室では、作品をじっと見つめる親子、作品を前にいろいろと話しかける家族、プログラムに夢中で取り組む子どもたちなど、普段の展示室ではなかなか見られない姿を多く見る事ができた。また、子どもの

観覧者が多かったにもかかわらず、平均で2時間43分、最長で6時間3分と展示室の滞在時間は長く、アンケートによる来館者の満足度も高かった。

作品が展示されている場でアートプログラムを体験してもらう本展は大きなチャレンジではあったが、来館者の様子や滞在時間の長さ、満足度の高さ、そして、当館において新しい鑑賞方法を提案できたという点から成果のある展覧会となった。

この他に、催し物として造形作家 玉田多紀氏による実技講座「ダンボール造形で タマゴからうまれた生き物づくり」を開催し、こちらも多くの参加者を得て好評に終わることができた。

会 期 2019年6月8日(土)～7月7日(日)

会 場 いわき市立美術館 企画展示室

主 催 いわき市立美術館



出品リスト

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材料
ふしぎな感覚				
1	ブリジット・ライリー	オルフェウス悲歌 I	1978	アクリル彩・リンネル
2	ラファエル・ソト	白と黄と青と黒	1980	金属・木
3	ヴィクトル・ヴァザルリ	C.T.A-103-A	1965	油彩・カンヴァス
4	ヴィクトル・ヴァザルリ	版画集「明晰」1 Titlepage	1968	シルクスクリーン・紙
5	ヴィクトル・ヴァザルリ	版画集「明晰」4 Deuton	1968	シルクスクリーン・紙
6	ヴィクトル・ヴァザルリ	版画集「明晰」9 Dia-or	1970	シルクスクリーン・紙
よく見てみよう				
7	田淵安一	三元素－風、火、水	1961	油彩・カンヴァス
8	土谷 武	虫 III－b	1977	軟鋼、鋳鉄
9	村井正誠	ねこ	1958	油彩・カンヴァス
10	中西夏之	コンパクト・オブジェ (卵)	1962	ポリエステル・時計など
11	堀内正和	人差指	1966	ブロンズ
12	マルク・シャガール	サーカス 1	1967	リトグラフ・紙
13	マルク・シャガール	サーカス 2	1967	リトグラフ・紙
14	マルク・シャガール	サーカス 3	1967	リトグラフ・紙
こまかな線を集めると				
15	柄沢 齊	肖像 II アルブレヒト・デューラー A	1981	木口木版・紙
16	柄沢 齊	肖像 XV シャルル・メリヨン	1983	木口木版・紙
17	日和崎尊夫	KALPA-A	1968	木口木版・紙
18	日和崎尊夫	KALPA-68-A-1	1968	木口木版・紙
19	胡子修司	白い輪のあるドリームランド	1984	エッチング、ドライポイント、メゾチント・紙
点と線だけで				
20	河口龍夫	太陽と描いた点	2011	紙、太陽熱
21	河口龍夫	太陽と描いた線	2011	紙、太陽熱
22	河口龍夫	太陽と描いた未完の円	2011	紙、太陽熱
23	河口龍夫	太陽と描いたピラミッド	2011	紙、太陽熱
24	高松次郎	点	1962	紐、ラッカー・木
25	高松次郎	点	1961	油彩・カンヴァス
26	李 禹煥	点より	1973	岩彩・カンヴァス
27	李 禹煥	線より	1980	岩彩・カンヴァス
くるりくるりまわすと				
28	秋山泰計	鳥をねらう猫を抱く少女	1976	木版・紙 (ed.2/50)
29	秋山泰計	おびからくり (トラ猫↔黒猫)		アクリル・布、厚紙
30	秋山泰計	おびからくり (兎↔ライオン)		アクリル・布、厚紙
31	秋山泰計	おびからくり (足↔靴)		アクリル・布、厚紙
32	秋山泰計	おびからくり (トラ猫↔おしどり)		アクリル・布、厚紙
33	秋山泰計	おびからくり (孔雀↔首)		アクリル・布、厚紙
34	秋山泰計	おびからくり (西瓜↔鳩)		アクリル・布、厚紙
35	秋山泰計	おびからくり (体操選手↔日の丸)		アクリル・布、厚紙
36	秋山泰計	おびからくり (お盆の首↔お盆の上のスイカ)		アクリル・布、厚紙

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材料
何がおきているかな1				
37	ジョアン・ミロ	サラセン人と青い星	1973	リトグラフ・紙
38	ジョアン・ミロ	貝	1969	リトグラフ・紙
39	アンソニー・グリーン	パッション II	1980-81	油彩・板・カンヴァス
40	鈴木芳子	A さん夫婦の像	1957	顔料・紙
何がおきているかな2				
41	アレックス・カット	ドンとサンドラ	1967	油彩・カンヴァス
42	ホルスト・アンテス	家族	1970-81	アクリル彩、油彩・カンヴァス
43	白髪一雄	天殺星黒旋風李逵	1962	油彩・カンヴァス
身近な材料で				
44	篠原有司男	トロピカル・ドリーム	1982	フェルトペン、インク、プラスチック・紙
45	篠原有司男	シティバスとマジンガー Z	1982	フェルトペン、インク、プラスチック・紙
46	篠原有司男	モーターサイクル・クイーン	1975	カードボード、ポリエステル樹脂他
凸凹で表現しよう				
47	狗巻賢二	作品 92-11	1992	油彩・カンヴァス
48	狗巻賢二	作品 92-14	1992	油彩・カンヴァス
49	韓 基柱	作品 '82	1982	韓紙
50	韓 基柱	作品 '82	1982	韓紙
51	エンリコ・カステッラーニ	無題	1960	カンヴァス、釘
ハサミでデッサン				
52	アンリ・マティス	版画集「JAZZ」2 サーカス	1947	ステンシル・紙
53	アンリ・マティス	版画集「JAZZ」4 白い象の悪夢	1947	ステンシル・紙
54	アンリ・マティス	版画集「JAZZ」5 馬と騎士と道化役者	1947	ステンシル・紙
55	アンリ・マティス	版画集「JAZZ」17 珊瑚礁 I	1947	ステンシル・紙
56	アンリ・マティス	版画集「JAZZ」18 珊瑚礁 II	1947	ステンシル・紙
57	アンリ・マティス	版画集「JAZZ」19 珊瑚礁 III	1947	ステンシル・紙
うつした表現（版画）				
58	パブロ・ピカソ	ランプの下の静物	1962	リノカット・紙
59	パブロ・ピカソ	帽子を被る女の胸像	1962	リノカット・紙
60	パブロ・ピカソ	パッカス祭	1959	リノカット・紙
61	浜口陽三	ぶどうの房	1969	カラーメゾチント・紙
62	浜口陽三	さくらんぼと青い鉢	1981	カラーメゾチント・紙
63	渡辺豊重	四角と点と跳ねる棒（ピクニック 8403）	1984	シルクスクリーン・紙
64	渡辺豊重	丸、四角、三角そして棒と点（ピクニック 8404）	1984	シルクスクリーン・紙
65	渡辺豊重	ピンピンそして角のとれた四角とお友達（ピクニック 8405）	1984	シルクスクリーン・紙
66	原 健	STROKES 78-3	1978	リトグラフ・紙
67	原 健	STROKES 78-2	1978	リトグラフ・紙
68	河口龍夫	2 億 6000 万年前のシダの葉から	2011	和紙、鉛筆、紙
69	河口龍夫	1 億 2000 万年前のトンボから	2011	和紙、鉛筆、紙
70	河口龍夫	一億年前のアンモナイトから	2011	和紙、鉛筆、紙

●プログラムリスト

No.	題 名	解 説
1	ふしぎな感覚	目の錯覚を利用した不思議な作品。平面なのに盛り上がっている。止まっているのに動いて見える。不思議な感覚を体感しよう。
2	よく見てみよう	クイズです。作品を見て、題名・技法・材料などを当てみよう。ワークシートに答えを書いて採点しよう。
3	こまかな線を集めると	細かな線を集めて面や陰影をつくり描く方法もあります。ニードルでスクラッチカードに細かな線を引っかき絵を描いていこう。
4	点と線だけで	点と線だけでも、いろいろな表現できます。筆や鉛筆で点と線だけによる表現に挑戦しよう。
5	くるりくるりとまわすと	くるりくるりとまわしていくと、トラ猫がライオンへ、スイカが鳩へと姿を変えていく「おびからくり」。ここでは、平面同士をつなぎ合わせる簡単な「おびからくり」を作ってみよう。
6	何がおきているかな 1	作品をみて、その中で起っている出来事を考え簡単な物語にしましょう。ワークシートに書いた物語は作品のとなりに貼って、みんなと共有しましょう。
7	何がおきているかな 2	作品の中でおこっていることを自分なりに考え、まわりの人と共有しましょう。考えたこと、その理由を付箋に書いて作品のとなりに貼ろう。
8	身近な材料で	身近なダンボールを材料に作品をつくっている作家もいます。ちぎって、まるめて、くっつけて、自分なりダンボール造形に挑戦しよう。
9	凸凹で表現しよう	白い画面に凸凹をつくと影が生まれ美しい画面ができます。厚紙を切って版を作り、プレス機にかけ凸凹のオリジナルカードを作ろう。
10	ハサミでデッサン	マチスは下描きをせず色紙にハサミで即興的に線を描き（切り）形をつくっています。マチスのようにハサミでデッサンし切り紙絵をつくろう。
11	うつした表現（版画）	版をつくり紙にうつす版画。このうつす方法の1つであるスチレンスタンプをつくって押して、オリジナルアートバッグを完成させよう。

パリ世紀末 ベル・エポックに咲いた華 サラ・ベルナールの世界展

本展は、19世紀半ばから20世紀初め、古き良き時代、ベル・エポックと呼ばれたフランスの繁栄の時代に活躍した大女優サラ・ベルナール（1844-1923）を中心に、彼女の功績、ゆかりの人々、そして彼女が生き抜いた世紀末のパリを、油彩、版画、工芸作品、写真、書籍など約180点で紹介。サラをはじめ、彼女の家族、友人、恋人たちを写した貴重な写真群や印刷物で構成した「第1部：サラ・ベルナールの生涯、写真に残された記憶」、演劇ポスターや舞台衣装、舞台パンフレットなどで世界を魅了した舞台人サラの魅力を紹介した「第2部：世界を魅了した演劇人、大女優サラ・ベルナール」、サラとの邂逅が独自の芸術世界を切り拓ききっかけとなったとも言われるミュシャやラリックら、同時代の芸術家の作品群を集めた「第3部：ベル・エポックの華、サラ・ベルナールが生きた時代」の3部構成により展覧した。

展覧会の企画に際しては、演劇人、文筆家、彫刻家、ファッションリーダーとして才能を

発揮したサラ・ベルナールの生涯を多角的かつ大規模に紹介する日本で初の試みとすることと同時に、彼女の存在を通してこの時代を再評価することも大きな狙いとした。

関連事業として、白田由樹（大阪市立大学大学院文学研究科准教授）による講演会「聖なる怪物サラ・ベルナール：女優の歴史と大衆メディア」、また、総合プロデューサーとしても才能を発揮したサラに因んだワークショップ「デザインワークを体験してみよう」、ルネ・ラリックの華やかな造形世界を体験する実技講座「エマイユ（七宝）の煌き」などを開催して好評を得た。

会 期 2019年7月20日(土)～9月1日(日)
会 場 いわき市立美術館 企画展示室
主 催 いわき市立美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
後 援 在日フランス大使館、アンスティチュ・フランセ日本
特別協力 エタンプ市美術館、ビエール＝アンドレ・エレーヌ、ダニエル・ラドウィユ、堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館）、箱根ラリック美術館、京都工芸繊維大学美術工芸資料館、リボリアンティークス



出品リスト

cat.no.	作品名	作家名	形状・技法・素材	サイズ(cm)	制作年	所蔵
1	自宅でのサラ・ベルナール	ポール・ナダール	写真	71.0×58.0	1890年	個人
2	コメディ＝フランセーズにデビュー時のサラ・ベルナール	フェルディナン・ミュルニエ	写真	52.0×42.0	1862年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
3	サラ・ベルナールの家族	不詳	写真	名刺判6枚		ダニエル・ラドウィユ・コレクション
4	サラ・ベルナールと孫娘シモース	W. & D. ダウニー	写真	48.0×34.0	1910年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
5	コートレでのサラ・ベルナールと夫ジャック・ダマラ	不詳	写真	33.0×30.0	1888年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
6	サラ・ベルナールの恩師たち 4点	不詳	写真	名刺判4枚		ダニエル・ラドウィユ・コレクション
7	サラ・ベルナールの舞台での同僚たち 4点	不詳	写真	名刺判4枚		ダニエル・ラドウィユ・コレクション
8	サラ・ベルナールの近い友人たち ルイズ・アベマ、ジョルジュ・クレラン、レイナルド・アーン	不詳	写真	名刺判3枚		ダニエル・ラドウィユ・コレクション
9	サラ・ベルナールが演じた戯曲の作家たち	不詳	写真	名刺判5枚		ダニエル・ラドウィユ・コレクション
10	サラ・ベルナールの恋人たち	不詳	写真	名刺判13枚、 キャビネ判1枚		ダニエル・ラドウィユ・コレクション
11	ルー・テリジェン	A. ペール	絵葉書	24.0×17.0		ダニエル・ラドウィユ・コレクション
12	『テオドラ』で、ルー・テリジェンとシュザンヌ・シーラーとともにいるサラ・ベルナール	ダワー・ストリート・スタジオ	写真	86.0×67.0	1910年頃	個人
13	街着姿のサラ・ベルナール	ダウニー、ダウニー、ナダール、ダウニー、メランドリ、メランドリ、サロニー、オット、メランドリ	写真（オリジナル写真）	名刺判6枚、 キャビネ判7枚		ダニエル・ラドウィユ・コレクション
14	街着姿のサラ・ベルナール	ナポレオン・サロニー	写真	40.0×30.0	1880年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
15	街着姿のサラ・ベルナール	ナポレオン・サロニー	写真	47.0×34.0	1880年	個人
16	街着姿のサラ・ベルナール	W. & D. ダウニー	写真	62.0×52.0	1902年	個人
17	ビロードの街着姿のサラ・ベルナール	ポール・ナダール	写真	41.0×32.0	1894年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
18	街着姿のサラ・ベルナール	ドーヴァー・ストリート・スタジオ	写真	46.0×40.0	1910年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
19	街着姿のサラ・ベルナール	マルソー	写真	35.0×30.0	1906年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
20	街着姿のサラ・ベルナール	レオポルド・ルトランジェ	写真	43.0×38.0	1910年	個人
21	舞台姿のサラ・ベルナール	不詳	写真	名刺判8枚、 キャビネ判18枚		ダニエル・ラドウィユ・コレクション
22	ベル＝イル＝アン＝メール島でのサラ・ベルナール		絵葉書	21.0×25.0	1905年頃	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
23	ベル＝イル＝アン＝メール島でのサラ・ベルナール	不詳	写真	55.0×73.0	1915年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
24	ベル＝イル＝アン＝メール島、サラ・ベルナール砦		絵葉書			ダニエル・ラドウィユ・コレクション

cat.no.	作品名	作家名	形状・技法・素材	サイズ(cm)	制作年	所蔵
25	第一次大戦中のサラ・ベルナール	不詳	写真	33.0×48.0	1916年	個人
26	サラ・ベルナール	アルフォンス・ミュシャ	リトグラフ・紙	68.0×48.7	1896年	堺アルフォンス・ミュシャ館
27	サラ・ベルナールの肖像	ジョルジュ・クレラン (1843-1919、フランス)	鉛筆・紙	30.8×22.5	不詳	箱根ラリック美術館
28	頭飾りを着けたサラ・ベルナール	アルフォンス・ミュシャ	鉛筆・紙	32.0×27.0	1896年	堺アルフォンス・ミュシャ館
29	メダイヨン サラ・ベルナール	ルイズ・アベマ	石膏	31.5×28.3×3.5	不詳	エタンプ市美術館
31	街着姿のサラ・ベルナール	ルイズ・アベマ	インク・紙	20.0×15.0	1876年	エタンプ市美術館
32	『アドリエンス・ルクヴール』でのサラ・ベルナール	ルイズ・アベマ	油彩・カンヴァス	25.0×20.0	1884-87年	エタンプ市美術館
33	サラ・ベルナール	ルイズ・アベマ	パステル・紙	40.0×40.0	1891年	エタンプ市美術館
34	サラ・ベルナール	ルイズ・アベマ	油彩・カンヴァス	50.0×40.0	1921年	エタンプ市美術館
35	サラ・ベルナール	ルイズ・アベマ	パステル・紙	70.0×50.0	1909年	エタンプ市美術館
36	扇子 サラ・ベルナール	ルイズ・アベマ	彩色・紙	閉：27.0×3.0 開：52.0×27.0	1881年	エタンプ市美術館
37	扇子 サラ・ベルナール	ルイズ・アベマ	インク・紙	閉：27.0×3.0 開：52.0×27.0	1881年	エタンプ市美術館
38	サラ・ベルナール	シャルル・アルベール・ヴァルトネール(バスティアン・ルパージュの原画に基づく)	銅版・紙	66.0×53.0	1896年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
39	サラ・ベルナール (H.ド・トゥールーズ＝ロートレックによる〈俳優13人の肖像画〉連作から)	アンリ・ド・トゥールーズ＝ロートレック	リトグラフ・紙	51.0×44.0	1898年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
40	サラ・ベルナールの肖像 エミール・モローの食器セットより	マリー・ベッソン	磁器	径24.0	1895年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
41	サラ・ベルナールの横顔	ウォルター・スピンドラー	パステル・紙	径45.0	1890年頃	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
42	サラ・ベルナール	ポール・エミール・ベルトン	リトグラフ・紙	55.0×40.0	1901年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
43	サラ・ベルナール	セバスティアン・ルボー	水彩・紙	94.0×74.0	2016年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
44	死の床のサラ・ベルナール	マルセル・ヴェルテ	インク・紙	29.0×30.0	1923年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
45	アレクサンドル・デュマ・フィス作『異邦人』でのサラ・ベルナール	ヴァレリー	写真	45.0×40.0	1876年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
46	『アドリエンス・ルクヴール』でのサラ・ベルナール	W. & D. ダウニー	写真	65.0×55.0	1880年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
47	『椿姫』を演じるサラ・ベルナール	ロシュリッツ・スタジオ	写真	48.0×37.0	1890年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
48	『フェードル』でのサラ・ベルナール	W. & D. ダウニー	写真	56.0×47.0	1897年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
49	『テオドラ』でのサラ・ベルナール	ポール・ナダールに帰属	写真	25.0×21.0	1900年頃	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
50	『テオドラ』でのサラ・ベルナール	W. & D. ダウニー	写真	40.0×32.0	1884年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
51	『テオドラ』でのサラ・ベルナール	ボワイエ	着色された写真	40.0×32.0	1884年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション

cat.no.	作品名	作家名	形状・技法・素材	サイズ(cm)	制作年	所蔵
53	『テオドラ』でのサラ・ベルナール	ミシェル・シモニー	リトグラフ、グワッシュ・紙	78.0×68.0	1902年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
55	ジスモンダ	アルフォンス・ミュシャ	リトグラフ・紙	211.0×72.5	1894年	京都工芸繊維大学美術工芸資料館
56	『ジスモンダ』でのサラ・ベルナール	ミュレール	ビスキュイ（素焼き）	29.0×17.0	1894年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
57	『ジスモンダ』でのサラ・ベルナール	テオバルド・シャルトラン	油彩・鍍金した革	50.0×32.0		ダニエル・ラドウィユ・コレクション
58	『ジスモンダ』でのサラ・ベルナール	テオバルド・シャルトラン	銅版・ベラム皮紙	51.0×41.0	1886年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
59	テオバルド・シャルトラン作『ジスモンダ』でのサラ・ベルナール	アドルフ・ブロン	写真	78.0×58.0	1897年	個人
60-1	『ル・ゴロワ』誌 1894年クリスマス特別号「ジスモンダ」特集 付録紙面	アルフォンス・ミュシャ	書籍	42.0×31.0	1894年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
60-2	『ル・ゴロワ』誌 1894年クリスマス特別号「ジスモンダ」特集 付録紙面	アルフォンス・ミュシャ	書籍	42.0×31.0	1894年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
60-3	『ル・ゴロワ』誌 1894年クリスマス特別号「ジスモンダ」特集 付録紙面（『ジスモンダ』第4幕最終場面）	アルフォンス・ミュシャ	書籍	52.0×57.0	1894年	個人
63	椿姫	アルフォンス・ミュシャ	リトグラフ・紙	202.5×70.0	1896年	京都工芸繊維大学美術工芸資料館
65	ロレンザッチオ改訂版	アルフォンス・ミュシャ	リトグラフ・紙	100.0×36.0	1897年	リボリアンティークス
68	メディア	アルフォンス・ミュシャ	リトグラフ・紙	207.5×76.5	1898年	堺アルフォンス・ミュシャ館
73	『トスカ』でのサラ・ベルナール	ルネ・ベルジェ	リトグラフ・紙	52.0×37.0	1920年頃	個人
74	ハムレット	アルフォンス・ミュシャ	リトグラフ・紙	207.9×75.5	1899年	堺アルフォンス・ミュシャ館
75	『ハムレット』でのサラ・ベルナール	ルネ・ベルジェ	リトグラフ・紙	55.0×40.0	1920年頃	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
77	ポストカード『遠国の姫君』のサラ・ベルナール		印刷・紙	13.5×9.0		箱根ラリック美術館
78	舞台用冠 ユリ（エドモン・ロスタン作『遠国の姫君』にて使用）	デザイン：アルフォンス・ミュシャ 制作：ルネ・ラリック	金属、真珠、ガラス	22.0×37.0×21.5	1895年頃	箱根ラリック美術館
79	ジャンヌ・ダルク	ウジューヌ・サミエル・グラッセ	リトグラフ・紙	34.0×22.0	1899年	リボリアンティークス
80	ジャンヌ・ダルク（修正前）	ウジューヌ・サミエル・グラッセ	リトグラフ・紙	120.0×77.0	1890年	リボリアンティークス
81	ジャンヌ・ダルク	ウジューヌ・サミエル・グラッセ	リトグラフ・紙	116.0×70.0	1894年	京都工芸繊維大学美術工芸資料館
83	『レグロン（鷺の子）』でのサラ・ベルナール	C. ド・フラノ	錫の皿	径24.0	1900年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
84	『ザイール』でのサラ・ベルナール	フェデリック・レガメ	リトグラフ・紙	46.0×36.0	1874年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
85	『イゼル』でのサラ・ベルナール	ロベール・キス	サンギース・紙	33.0×27.0	1894年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション

cat.no.	作品名	作家名	形状・技法・素材	サイズ(cm)	制作年	所蔵
86	『フランチェスカ・ダ・リミニ』 でのサラ・ベルナール	ボワイエ	写真	55.0×40.0	1902年	ダニエル・ラドゥイユ・ コレクション
87	『アタリー』でのサラ・ベル ナール	ジョゼ・シモン	水彩・紙『イリュ ストラシオン』誌 の表紙	42.0×32.0	1921年	ダニエル・ラドゥイユ・ コレクション
88	『クレオパトラ』でサラ・ベ ルナールが身につけた胸当て		金属、ガラス、天 然石	径20.0	1890年頃	個人
89	『クレオパトラ』でサラ・ベ ルナールが身につけたヘアバ ンド		金属、ガラス、天 然石	7.0×57.0	1890年頃	個人
90	『クレオパトラ』でサラ・ベ ルナールが身につけたベルト		金属、ガラス、天 然石	9.0×69.0	1890年頃	個人
91	『テオドラ』で使用されたロ ケットとチェーン		銅、ルビー、ガラ スパール	9.0×8.0		個人
92	シャトレース		銅、真珠、ガラス パール、ガラス	10.0×60.0	1900年頃	個人
93	『フェドラ』でサラ・ベルナ ールが身につけたベルトのバック ル		銀メッキ	13.0×29.0	1906年	個人
94	サラ・ベルナールが身につけ たベルトのバックル		銀メッキされた 銅、カメオ	9.0×8.0		個人
95	サラ・ベルナールが身につけ ていたプレスレットの留め金		銀、ヴェルメイユ、 真珠、ガラスパー ル	8.0×3.0		個人
96	サラ・ベルナールが使用した シャトレースのミノディエ ール		銅、ガラスパール	26.0×8.0	1880年頃	個人
97	ティアラ（王冠型髪用アクセ サリー）		銅、真珠、ガラス	22.0×20.0×8.0	1900年頃	個人
98	ティアラ（王冠型髪用アクセ サリー）		銅、ガラス	22.0×17.0×9.0	1900年頃	個人
99	ベルト		金属、ガラス	74.0×6.0	1900年頃	個人
100	ベルト		金属、ガラス	2.0×80.0	1900年頃	個人
101	ブローチ		銅、ガラス	18.0×17.0	1900年頃	個人
102	ベクトラル（胸飾り）風首飾 り		銅、ガラス	28.0×30.0	1900年頃	個人
104	『メディア』のための衣装案	アルフォンス・ミュ シャに帰属	鉛筆・紙	35.0×29.0	1898年	ダニエル・ラドゥイユ・ コレクション
105	『メディア』のための衣装案	アルフォンス・ミュ シャに帰属	鉛筆、水彩・紙	62.0×48.0	1898年	ダニエル・ラドゥイユ・ コレクション
106	『魔女』のための衣装案	アルフォンス・ミュ シャに帰属		35.0×29.0	1903年頃	ダニエル・ラドゥイユ・ コレクション
107	公演用プログラム『テオドラ』		印刷・紙	32.3×24.6	1902年	箱根ラリック美術館
108	制作案 テオドラ	ルネ・ラリック	鉛筆、水彩、グアッ シュ・紙	28.7×22.8	1900-02年 頃	箱根ラリック美術館
109	ジスモンダ アメリカツアー 版	アルフォンス・ミュ シャ	リトグラフ・紙	198.0×72.0	1895年	リボリアンティークス
110	1906年のアメリカツアーで のサラ・ベルナール		複製写真	21.0×29.0		個人
111	ナイアガラの滝の前のサラ・ ベルナールとその一行		絵葉書		1907年	ダニエル・ラドゥイユ・ コレクション
112-1	冠		銀	43.0×45.0	1881年	個人
112-2	皿		銀	径45.0	1881年	個人
113	サラ・ベルナールの巡業プロ グラム		冊子	31.5×23.5		ダニエル・ラドゥイユ・ コレクション

cat.no.	作品名	作家名	形状・技法・素材	サイズ(cm)	制作年	所蔵
114	『椿姫』プログラム表紙		冊子	28.0×21.2	1896年	リボリアンティークス
115	サラ・ベルナル座のプログラム		冊子	22.7×12.7	1899年	リボリアンティークス
116	舞台プログラム 7点		冊子			ダニエル・ラドウィユ・コレクション
117	サラ・ベルナル座の見取り図	不詳	グラビュール・紙	30.0×40.0	1910年頃	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
118	メダルの型「サラ・ベルナル」	ルネ・ラリック	石膏	径9.0	1896年	箱根ラリック美術館
119	「サラ・ベルナルの日」記念冊子	アルフォンス・ミュシャ	書籍	36.8×26.0×2.0	1896年	エタンプ市美術館
120	「サラ・ベルナルの日」メニュー	不詳	リトグラフ・紙	33.0×24.0	1896年	リボリアンティークス
121	「サラ・ベルナルの日」メニュー	アルフォンス・ミュシャ	リトグラフ・紙		1896年	リボリアンティークス
123	白い衣装で自画像とともに写る彫刻家としてのサラ・ベルナル	アシル・メランドリ	写真	33.0×25.0	1875年頃	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
124	サラ・ベルナル作《嵐の後》石膏原型の写真	シャルル・マルヴィル	写真	34.0×28.0	1876年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
125	キメラとしてのサラ・ベルナル	サラ・ベルナル	ブロンズ	10.0×9.4×11.5	1880年頃	エタンプ市美術館
126	『雲の中で ある椅子の印象』	サラ・ベルナル (ジョルジュ・クレラン挿絵)	書籍	28.0×21.0	1878年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
127	『告白』	サラ・ベルナル	書籍	24.0×16.0	1888年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
128	『サラ・ベルナル』	ジュール・ユレ	書籍	29.0×22.0	1899年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
129	『サラ・ベルナル』	ダニ・ビュッソン	書籍	20.0×17.0	1900年頃	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
130	サラ・ベルナル	アルフォンス・ミュシャ	リトグラフ・紙	69.5×50.5	1896年	リボリアンティークス
132	『ラ・ブリュム誌』「サラ・ベルナル」特集	ギュスターヴ・カーン、他	書籍	25.0×19.0	1901年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
133	ラジオ 44 のサラ・ベルナル生誕 100 年記念プログラム	ミシェル・ド・ブリ	冊子		1944年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
133	ラジオ 44 のサラ・ベルナル生誕 100 年記念ポスター	ミシェル・ド・ブリ	ポスター	46.0×36.0	1944年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
134	調髪道具セット		銀、5点	15.0×5.0×4.0 25.0×10.0×6.0 28.0×11.0×2.0 25.0×10.0×6.0 15.0×5.0×4.0		個人
135-1	オードブル皿	ティファニー	銀・ヴェルメイユ	25.0×10.0		個人
135-2	オードブル皿 1対	ティファニー	銀・ヴェルメイユ	25.0×10.0		個人
135-3	水差し	ティファニー	銀・ヴェルメイユ	40.0×25.0		個人
135-4	トレイ	ティファニー	銀・ヴェルメイユ	10.0×25.0×2.0		個人
135-5	キャンドルスタンド 1対	ティファニー	銀・ヴェルメイユ	25.0×10.0		個人
136	イブニングドレス	ジャック・ドゥーセ	絹、ビーズ、他	着丈130.0×肩幅39.0	19世紀末	個人
137	ステッキ トカゲあるいはドラゴン	ルネ・ラリック	金属、木	80.0×9.6×2.2	1895-97年頃	箱根ラリック美術館
138	サラ・ベルナル	アンドレ・ジル	リトグラフ・紙	52.0×41.0	1878年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション

cat.no.	作品名	作家名	形状・技法・素材	サイズ(cm)	制作年	所蔵
140	サラ・ベルナール	アンドレ・ジル	リトグラフ・紙	85.0×60.0	1878年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
141	サラ・ベルナール礼賛	シャルル・レアンドル	リトグラフ・紙	85.0×60.0	1902年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
142	サラ・ベルナールの写真パネ ル	アシル・メランドリ	写真	57.0×47.0	1875年頃	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
143	白粉「ディアファース」	アルフレッド・クラ レー	リトグラフ・紙	60.0×52.0	1890年頃	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
144	アブサント酒「テルミニウス」	アフィッシュ・カミ	リトグラフ・紙	130.0×105.0	1898年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
149	オノト万年筆の広告	不詳	リトグラフ・紙	45.0×35.0	1905年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
150	サラ・ベルナールの切手	ビエール・ガンドン／ シャルル・マズラン	切手	39.5×32.5	1945年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
151	モナコ公国発行サラ・ベル ナール生誕 150 年記念切手 シート		切手	35.0×29.0	1994年	ダニエル・ラドウィユ・コレクション
152	棺桶の中でポーズするサラ・ ベルナール		写真	名刺判		ダニエル・ラドウィユ・コレクション
153	ディヴァン・ジャボネ	アンリ・ド・トゥールー ズ＝ロートレック	リトグラフ・紙	79.0×59.0	1892年	リボリアンティークス
155	『ラ・ルヴュ・ブランシュ』 誌	ビエール・ボナール	リトグラフ・紙	79.1×61.3	1894年	京都工芸繊維大学美術 工芸資料館
156	『ラ・デベージュ』誌	モーリス・ドニ	リトグラフ・紙	138.5×94.0	1892年	京都工芸繊維大学美術 工芸資料館
157	『ラ・ルヴュ・ブランシュ』 誌	アンリ・ド・トゥールー ズ＝ロートレック	リトグラフ・紙	130.0×95.0	1895年	リボリアンティークス
158	イヴェット・ギルバール	アンリ・ド・トゥールー ズ＝ロートレック	リトグラフ・紙	43.0×33.0	1894年	個人
159	ムーラン・ルージュ 夜会・ 流浪の芸術家	オーギュスト・レーデ ル	リトグラフ・紙	116.5×86.5	1897年	京都工芸繊維大学美術 工芸資料館
160	カルナバル 1894 年	ジュール・シュレ	リトグラフ・紙	122.5×86.5	1893年	リボリアンティークス
162	シャ・ノワール	テオフィール＝アレク サンドル・スタンラン	リトグラフ・紙	60.0×39.0	1896年	リボリアンティークス
164	「ロイ・フラー・ショー」フォ リィ・ベルジュール座	パル	リトグラフ・紙	122.0×78.5	1900年	京都工芸繊維大学美術 工芸資料館
166	サダ・ヤッコ	アルフレード・ミュ ラー	リトグラフ・紙	219.0×76.5	1899-1900 年頃	京都工芸繊維大学美術 工芸資料館
167	デコヴィーユ自転車	ユーゴ・ダレジ	リトグラフ・紙	117.0×82.0	1895年	京都工芸繊維大学美術 工芸資料館
168	サクソレーヌ燈油	ジュール・シュレ	リトグラフ・紙	117.5×82.1	1891年	京都工芸繊維大学美術 工芸資料館
172	巫女	アルフォンス・ミュ シャ	油彩・カンヴァス	99.5×90.0	1926年	堺アルフォンス・ミュ シャ館
173	女占い師	アルフォンス・ミュ シャ	油彩・カンヴァス	63.3×90.5	1917年	堺アルフォンス・ミュ シャ館
174	月桂樹：絵皿	アルフォンス・ミュ シャ	金属に印刷・絵皿	径30.4	1902年頃	堺アルフォンス・ミュ シャ館
176	ビスケット缶：ルフェーヴル ＝ユティル	アルフォンス・ミュ シャ	金属に印刷・缶	16.0×13.0×13.0	1899年	堺アルフォンス・ミュ シャ館
177	黄道十二宮	アルフォンス・ミュ シャ	リトグラフ・紙	79.5×60.9	1897年	リボリアンティークス
178	夢想	アルフォンス・ミュ シャ	リトグラフ・紙	64.0×47.5	1898年	リボリアンティークス

cat.no.	作品名	作家名	形状・技法・素材	サイズ(cm)	制作年	所蔵
179	JOB	アルフォンス・ミュシャ	リトグラフ・紙	56.0×41.0	1896年	リボリアンティークス
180	サロン・デ・サン	アルフォンス・ミュシャ	リトグラフ・紙	63.0×44.0	1897年	リボリアンティークス
181	羽根	アルフォンス・ミュシャ	リトグラフ・紙	60.3×27.0	1899年	リボリアンティークス
182	チョーカーヘッド 流れる髪 の女	ルネ・ラリック	金、ダイヤモンド、 緑玉髄	5.5×7.2	1898-1900 年頃	箱根ラリック美術館
183	ブローチ 女の横顔とケシ	ルネ・ラリック	金、エマイユ	2.0×4.0	1900年頃	箱根ラリック美術館
184	ブローチ 櫛の木と女	ルネ・ラリック	金、エマイユ、貝	7.0×9.8	1900-02年 頃	箱根ラリック美術館
185	ペンダント 女の横顔とプラ タナス	ルネ・ラリック	金、エマイユ	9.6×3.2	1901-02年 頃	箱根ラリック美術館
186	ブローチ 女の横顔とマーガ レット	ルネ・ラリック	金、ダイヤモンド、 パロック真珠、エ マイユ	5.8×4.8	1897-98年 頃	箱根ラリック美術館
187	ブローチ 樹冠の中の女	ルネ・ラリック	金、エマイユ	4.5×6.7	1900-02年 頃	箱根ラリック美術館
188	指輪 オダマキ	ルネ・ラリック	金、エマイユ	3.7×2.1×2.3	1898-99年 頃	箱根ラリック美術館
189	ペンダント かげろうの女	ルネ・ラリック	金、エマイユ	7.5×2.8	1897-98年 頃	箱根ラリック美術館
190	ポーチ 二頭のセミ	ルネ・ラリック	金、エマイユ	8.4×7.1	制作年不 詳	箱根ラリック美術館
191	携帯眼鏡 キク	ルネ・ラリック	銀、金、アメシス ト	18.0×3.5	1887-1902 年頃	箱根ラリック美術館
192	ハンドバッグ フジとクワガ タソウ	ルネ・ラリック	金属、布、皮革	16.1×14.3	1901-03年 頃	箱根ラリック美術館
193	脚付盃 松かさ	ルネ・ラリック	オバルセントガラ ス、銀枠に吹込み	18.8×10.6×10.6	1900-02年 頃	箱根ラリック美術館
194	花器 トカゲと矢車菊	ルネ・ラリック	色ガラス、型吹き、 部分的にフロスト	33.0×20.0×20.0	1913年	箱根ラリック美術館
195	花器 バッタ	ルネ・ラリック	色ガラス、型吹 き、部分的にフロ スト、パチネ	27.0×24.5×24.5	1912年	箱根ラリック美術館
196	ダイニング用センターピース 火の鳥	ルネ・ラリック	無色ガラス、プレ ス、部分的にフロ スト、ブロンズ製 台座	44.0×43.5×9.6	1922年	箱根ラリック美術館
197	香水瓶 「レンズ豆」 あるい は 「小さな花の帯」	ルネ・ラリック	本体：無色ガラス、 プレス、黒エナメ ル彩／栓：無色ガ ラス、プレス、黒 エナメル彩	4.8×8.0×8.0	1912年	箱根ラリック美術館
198	香水瓶 シダ	ルネ・ラリック	本体：無色ガラ ス、型吹き、パチ ネ、メダルと栓： 無色ガラス、プレ ス、部分的にフロ スト、パチネ	9.5×7.0×3.0	1912年	箱根ラリック美術館
199	香水瓶 彼女たちの魂 ドル セー社	ルネ・ラリック	本体：無色ガラス、 型吹き／栓：無色 ガラス、プレス、 部分的にフロスト	13.0×10.2×4.9	1913年	箱根ラリック美術館
200	彫像 タイス（別名「スザン ヌモデル 2」）	ルネ・ラリック	無色ガラス、プレ ス、フロスト	22.0×19.8×5.5	1925年	箱根ラリック美術館

cat.no.	作品名	作家名	形状・技法・素材	サイズ(cm)	制作年	所蔵
201	花器 「つむじ風」あるいは「浮き彫りされた渦巻」	ルネ・ラリック	無色ガラス、プレス、黒エナメル彩	20.2×19.8×19.8	1926年	箱根ラリック美術館
202	プレスレット スカラベ	ルネ・ラリック	色ガラス、プレス、鏡面加工、金	一片:2.7×1.3×0.7	1912年頃	箱根ラリック美術館
203	花器 スカラベ	ルネ・ラリック	色ガラス、型吹き、部分的にフロスト	29.0×26.0×26.0	1923年	箱根ラリック美術館

パナソニック汐留美術館所蔵 ジョルジュ・ルオー展

20世紀フランスを代表する画家ジョルジュ・ルオー（1871-1958）は、塗り重ねた鮮やかな色彩と、特徴的な力強い黒の線を用いて、道化師や労働者、聖書の主題などを描き出した。

フォーヴに属しながら、人間の苦悩や希望を見つめ、造形的、精神的に独自の世界を切り開いたルオーの作品は時代や地域を超えて今日でも深い共感を呼ぶ。本展は、世界的にも有数のルオー・コレクションで知られるパナソニック汐留美術館の所蔵作品から、油彩と版画合わせて103点を紹介した。師ギュスターヴ・モローの影響が表れた初期作品《ゲッセマニ》から、明るく豊かな色彩に満ちた晩

年の傑作《マドレーヌ》まで、ルオーの画業を丹念に辿る展示となった。加えて所蔵館による作品修復の成果をパネル展示し、保存修復の観点からルオーの制作過程の一端を明らかにしたほか、当館所蔵の版画集「流れる星のサーカス」を参考出品し、当館の現代美術コレクションとの繋がりを提示した。会期中の催しでは、いわきアリオスとの連携事業としてパフォーマンス作品「眼差しの先で」に取り組んだほか、修復家森直義氏の講演会や、会話と簡単な謎解きを組み合わせた「やさしいギャラリートーク」を実施し、好評を博した。

会 期 2019年9月14日(土)～10月27日(日)
会 場 いわき市立美術館 企画展示室
主 催 いわき市立美術館、福島民報社
特別協力 パナソニック汐留美術館
企画協力 ホワイトインターナショナル



作品リスト

No.	シリーズ名・番号	作品名	制作年	材質・技法	寸法(縦×横cm)
1	初期・学生時代	新たな表現技法の模索			
1		ゲッセマニ	1893	油彩／麻布（麻布で裏打ち）	41.0×33.3
2		人物のいる風景	1897	木炭、パステル／紙（紙と麻布で裏打ち）	83.8×121.6
3		バリ（セーヌ川）	1901	水彩、パステル／紙（紙と麻布で裏打ち）	17.5×29.6
4		道化師	1909	油彩／紙（麻布で裏打ち）	67.4×52.3
5		後ろ向きの娼婦	1905	水彩、精油で溶いた絵の具、パステル／紙	47.1×28.5
6		法廷	1909	油彩／厚紙	75.0×105.3
7		流浪者の休息	1909	油彩／厚紙（板で裏打ち）	25.0×35.0
8		風景、乗馬	1911	グワッシュ、パステル／紙（麻布で裏打ち）	63.0×75.0
9		ブルターニュの風景	1915	精油で溶いた絵の具／紙（板で裏打ち）	44.0×74.1
2	悩める魂・人間ドラマ	ミセレーレ、サーカス、裁判官			
10	『ミセレーレ』 5	異と悪意のこの世で、孤独	1923	エリオグラヴュール、シュガー・アクアティント、 アクアティント、ルーレット、バーニッシャー、 ドライポイント／紙	57.5×41.5
11	『ミセレーレ』 6	我らは苦役囚ではないのか？	1926	エリオグラヴュール、シュガー・アクアティント、 アクアティント、バーニッシャー、ドライポイン ト／紙	59.0×43.5
12	『ミセレーレ』 7	自分を王だと信じているが	1923	エリオグラヴュール、シュガー・アクアティント、 アクアティント、バーニッシャー、ドライポイン ト他／紙	59.0×42.0
13	『ミセレーレ』 11	明日は晴れるだろう、と難破 者は言っていた	1922	エリオグラヴュール、シュガー・アクアティント、 ルーレット、ドライポイント、アクアティント、 バーニッシャー／紙	50.5×35.5
14	『ミセレーレ』 13	でも愛することができたな ら、なんと楽しいことだろう	1923	エリオグラヴュール、シュガー・アクアティント、 アクアティント、バーニッシャー、ドライポイン ト／紙	57.5×41.0
15	『ミセレーレ』 14	快樂の娘と呼ばれるが	1922	エリオグラヴュール、シュガー・アクアティント、 バーニッシャー、ルーレット、ドライポイント、 スクレイパー／紙	50.5×36.5
16	『ミセレーレ』 15	清らかだった唇に、苦い味	1922	エリオグラヴュール、シュガー・アクアティント、 アクアティント、ルーレット、ドライポイント、 バーニッシャー／紙	50.5×35.0
17	『ミセレーレ』 16	上流社会のご婦人は、天国で 予約席に着けると信じている	1922	エリオグラヴュール、シュガー・アクアティント、 アクアティント、バーニッシャー、ルーレット／ 紙	57.2×41.2
18	『ミセレーレ』 17	解放された女は、もったい ぶった口調で歌う	1923	エリオグラヴュール、シュガー・アクアティント、 バーニッシャー、ドライポイント／紙	55.5×42.8
19	『ミセレーレ』 18	罪を宣告された者は立ち去っ た…	1922	エリオグラヴュール、アクアティント、ルーレ ット、バーニッシャー、ドライポイント／紙	50.0×34.5
20	『ミセレーレ』 19	弁護士は空々しい言葉で彼が まったく無意識であったと主 張する…	1922	エリオグラヴュール、シュガー・アクアティント、 ルーレット、スクレイパー、バーニッシャー、ド ライポイント他／紙	53.5×40.8
21	『ミセレーレ』 20	忘れ去られた十字架のイエス の下で	1926	エリオグラヴュール、シュガー・アクアティント、 アクアティント、バーニッシャー、ルーレット、 ドライポイント他／紙	57.7×41.5
22	『ミセレーレ』 24	“冬、大地の癪病”	1922	エリオグラヴュール、アクアティント、ニス、ルー レット、バーニッシャー、ドライポイント、シュ ガー・アクアティント／紙	51.5×36.8
23	『ミセレーレ』 27	世のことがらは涙を誘うもの がある…	1926	エリオグラヴュール、シュガー・アクアティント、 スクレイパー、バーニッシャー、ドライポイント、 ルーレット他／紙	58.0×42.0

No. シリーズ名・番号	作品名	制作年	材質・技法	寸法(縦×横cm)
24 『ミセレーレ』 28	“我を信ずる者は、死すとも生きん”	1923	エリオグラヴュール、シュガー・アクアティント、アクアティント、ドライ・ポイント／紙	57.5×43.5
25 『ミセレーレ』 29	朝の祈りを歌え、陽はまた昇る	1922	エリオグラヴュール、ルーレット、シュガー・アクアティント、バーニッシャー、ドライポイント／紙	50.8×36.5
26 『ミセレーレ』 31	“汝ら、互いに愛し合うべし”	1923	エリオグラヴュール、アクアティント、スクレイパー、ニス、バーニッシャー、ルーレット、ビュラン／紙	59.0×42.5
27 『ミセレーレ』 33	そして柔らかな布を持った ヴェロニカは、今なお道を行く…	1922	エリオグラヴュール、シュガー・アクアティント、ルーレット、バーニッシャー、ドライポイント／紙	43.5×43.0
28 『ミセレーレ』 35	“イエスは、世の終わりにいたるまで苦しみたまわん…”	1922	エリオグラヴュール、シュガー・アクアティント、ニス、ルーレット、スクレイパー、バーニッシャー、ドライポイント／紙	58.0×41.0
29 『ミセレーレ』 43	“われら死すべきもの、われらもわれらのものすべし”	1922	エリオグラヴュール、シュガー・アクアティント、アクアティント、ニス、ルーレット、ドライポイント／紙	51.5×36.4
30 『ミセレーレ』 45	刺草の床から出たとたん、死は彼を襲った	1922	エリオグラヴュール、シュガー・アクアティント、スクレイパー、バーニッシャー、ドライポイント、アクアティント、ルーレット／紙	53.7×33.2
31 『ミセレーレ』 48	酒槽にて、葡萄は潰された	1922	エリオグラヴュール、アクアティント、ルーレット、シュガー・アクアティント、ドライポイント他／紙	39.5×48.5
32 『ミセレーレ』 51	ランスの微笑からほど遠く	1922	エリオグラヴュール、シュガー・アクアティント、スクレイパー、バーニッシャー、ルーレット、ドライポイント、アクアティント他／紙	51.0×38.3
33 『ミセレーレ』 54	“死者よ起て！”	1927	エリオグラヴュール、シュガー・アクアティント、アクアティント、バーニッシャー、ルーレット、ドライポイント／紙	58.8×44.4
34	踊り子と白い犬	1920-29	油彩／紙（麻布で裏打ち）	68.3×50.1
35 （両面作品：表）	アフリカの風景（ユビュの試作）	1917	墨、グワッシュ・パステル／紙	38.8×53.4
36	女曲馬師（人形の顔）	c.1925	油彩／紙（麻布で裏打ち）	68.3×48.8
37	花蘇芳の側にいる水浴の女たち	1925-29	油彩／紙（麻布で裏打ち）	40.4×62.6
38	黄色い道化師	1929-30	油彩／紙（麻布で裏打ち）	53.0×38.0
39	二人の道化師	1929-39	油彩／厚紙（板で裏打ち）	80.8×59.2
40	道化師	1937又は38	油彩／紙（麻布で裏打ち）	48.2×43.3
41	裸婦『悪の華』	c.1930-39	油彩／紙（麻布で裏打ち）	30.4×22.7
42	裁判官たち	1938-39	油彩／紙（麻布で裏打ち）	50.0×72.0
43	裁判官	c.1939	油彩／薄い紙（麻布で裏打ち）	39.0×31.2
3 キリスト・聖書の世界				
44	十字架上のキリスト	c.1935	油彩／紙（麻布で裏打ち）	29.1×20.4
45	古びた町外れにて 又は「台所」	1937	油彩／紙（麻布で裏打ち）	55.0×69.9
46	キリスト	1937-38	油彩／紙（麻布で裏打ち）	68.2×49.0
47	風景	c.1935	油彩／紙（麻布で裏打ち）	19.1×16.0
48	聖書の風景	1929-39	油彩／厚紙	40.8×52.2
49	聖顔	1939	油彩／紙（麻布で裏打ち）	77.0×59.9
50	夕べの星（聖書の風景）	c.1935	油彩／紙（麻布で裏打ち）	22.8×14.3
51	聖書の風景	c.1935-36	油彩／紙（麻布で裏打ち）	17.1×23.3
52	人物のいる風景	制作年不詳	油彩／紙（ポリエステル布で裏打ち）	15.5×20.3
53	孤独なキリスト	制作年不詳	油彩／紙（麻布で裏打ち）	16.7×21.8

No.	シリーズ名・番号	作品名	制作年	材質・技法	寸法(縦×横cm)
54		風景	制作年不詳	油彩／紙（ポリエステル布で裏打ち）	38.4×28.2
55		風景	制作年不詳	油彩／紙（ポリエステル布で裏打ち）	14.9×22.6
56		聖書の風景	制作年不詳	油彩／厚紙	18.1×22.0
57		聖書の風景	制作年不詳	油彩／紙（麻布で裏打ち）	25.1×19.4
58		地中海風景	制作年不詳	油彩／紙（ポリエステル布で裏打ち）	14.9×19.0
59		冬 人物のいる風景	制作年不詳	油彩／紙（麻布で裏打ち）	14.1×17.0
60		キリストと子供	制作年不詳	油彩／紙（ポリエステル布で裏打ち）	21.4×14.6
61		キリストと子供	制作年不詳	油彩／紙（ポリエステル布で裏打ち）	27.2×23.2
62		人物のいる風景	c.1930-39	油彩／紙（麻布で裏打ち）	16.4×14.6
63		聖書の風景	制作年不詳	油彩／紙（麻布で裏打ち）	16.5×14.6
64		聖書の風景	制作年不詳	油彩／紙（麻布で裏打ち）	24.2×19.7
65		風景	制作年不詳	油彩／紙（麻布で裏打ち）	16.7×14.0
4 晩年・色彩の開花 悪の華、花、マドレーヌ					
66	『受難』 3	渡り職人	1935	シュガー・アクアティント、アクアティント／紙	29.8×20.4
67	『受難』 5	キリストと聖女	1936	シュガー・アクアティント、アクアティント／紙	31.0×20.8
68	『受難』 7	この人を見よ	1936	シュガー・アクアティント、アクアティント／紙	31.8×20.4
69	『受難』 8	老人はとほとほと歩く	1936	シュガー・アクアティント、アクアティント／紙	31.2×21.8
70	『受難』 10	(横顔の)キリスト	1936	シュガー・アクアティント、アクアティント／紙	31.2×20.9
71	『受難』 11	漁夫	1936	シュガー・アクアティント、アクアティント／紙	31.1×21.3
72	『受難』 12	「ならず者…どんなアカデミーからも祝福される山犬(シャカル)」	1935	シュガー・アクアティント、アクアティント／紙	31.8×20.7
73	『受難』 13	羽飾りをつけた婦人	1936	シュガー・アクアティント、アクアティント／紙	31.0×21.0
74	『受難』 16	キリストと弟子たち	1936	シュガー・アクアティント、アクアティント／紙	30.1×21.5
		秋	1933	石版／紙	43.4×57.5
75		秋（色刷り）	c.1938	シュガー・アクアティント、アクアティント／紙	50.3×65.2
76		秋色校正（指示書き付き）	c.1938	シュガー・アクアティント、アクアティント／紙	56.7×77.5
77		秋色校正 1	c.1938	シュガー・アクアティント、アクアティント／紙	50.0×64.9
78		秋色校正 2	c.1938	シュガー・アクアティント、アクアティント／紙	49.7×65.0
79		秋色校正 3	c.1938	シュガー・アクアティント、アクアティント／紙	50.2×65.2
80		秋色校正 4	c.1938	シュガー・アクアティント、アクアティント／紙	50.2×65.1
81		秋色校正 5	c.1938	シュガー・アクアティント、アクアティント／紙	50.1×65.2
82		秋色校正墨版	c.1938	シュガー・アクアティント、アクアティント／紙	47.8×63.5
83		秋試作 1	c.1938	シュガー・アクアティント、アクアティント／紙	51.3×66.7
84		秋試作 2	c.1938	シュガー・アクアティント、アクアティント／紙	51.2×67.5
85	『悪の華』のために版刻された 14 図』 2	辱しめを受けるキリスト	1926	エリオグラヴュール、シュガー・アクアティント、バーニツシャー、スクレイパー、ドライポイント／紙	35.0×25.0
86	『悪の華』のために版刻された 14 図』 7	悪魔 II	1926	エリオグラヴュール、スクレイパー、バーニツシャー、ルーレット、ドライポイント／紙	34.8×25.4
87	『悪の華』のために版刻された 14 図』 8	悪魔 III	1926	エリオグラヴュール、オーフォルト、スクレイパー、バーニツシャー、ドライポイント／紙	35.0×25.8
88	『悪の華』のために版刻された 14 図』 10	「辻々に売春の灯がともる…」	1927	エリオグラヴュール、シュガー・アクアティント、ドライポイント、スクレイパー他／紙	33.5×23.8
89	『悪の華』のために版刻された 14 図』 12	悪魔 IV	1926	エリオグラヴュール、アクアティント、バーニツシャー、ドライポイント／紙	34.5×25.0
90	『悪の華』のために版刻された 14 図』 14	「眉目美わしく、姿あでやかな女なり…」	1927	エリオグラヴュール、アクアティント、バーニツシャー、ルーレット、シュガー・アクアティント、ドライポイント／紙	35.0×24.7
91	『悪の華』 2	自惚れ女	1937	シュガー・アクアティント、アクアティント／紙	30.5×20.3

No. シリーズ名・番号	作品名	制作年	材質・技法	寸法(縦×横cm)
92 「悪の華」 5	従僕 (?)	1938	シュガー・アクアティント、アクアティント / 紙	30.6×20.7
93 「悪の華」 7	三人組	1938	シュガー・アクアティント、アクアティント / 紙	29.6×21.5
94 「悪の華」 8	塔のある風景	1938	シュガー・アクアティント、アクアティント / 紙	30.7×20.5
95 「悪の華」 9	(正面向きの) キリスト	1938	シュガー・アクアティント、アクアティント / 紙	29.5×20.5
96 「悪の華」 12	墓	1936	シュガー・アクアティント、アクアティント / 紙	29.5×20.1
97	曲馬師	c.1940-49	油彩 / 紙 (ポリエステル布で裏打ち)	23.0×18.8
98	エジプトへの逃避	1952	油彩 / 紙 (板で裏打ち)	39.0×33.5
99	キリストと漁夫たち	c.1947	油彩 / 厚紙 (板で裏打ち)	57.8×74.7
100	飾りの花	1947	油彩 / 紙 (ポリエステル布で裏打ち)	53.5×37.5
101	飾りの花	1947	油彩 / 紙 (麻布で裏打ち)	56.0×40.1
102	マドレーヌ	1956	油彩 / 紙 (麻布で裏打ち)	49.1×34.2

いわき市立美術館所蔵品 参考出品

No. シリーズ名・番号	作品名	制作年	材質・技法	寸法(縦×横cm)
『流れる星のサーカス』 1	扉絵 見世物小屋の呼び込み	1934	アクアティント / 紙	33.0×19.4
『流れる星のサーカス』 2	黒いピエロ	1935	アクアティント / 紙	30.2×20.4
『流れる星のサーカス』 5	曲芸師	1934	アクアティント / 紙	31.2×20.2
『流れる星のサーカス』 6	小さな女曲馬師	1935	アクアティント / 紙	30.0×20.6
『流れる星のサーカス』 9	カルメンシータ夫人	1935	アクアティント / 紙	30.5×20.7
『流れる星のサーカス』 14	ピエロ	1935	アクアティント / 紙	30.8×20.8
『流れる星のサーカス』 15	バレリーナたち	1934	アクアティント / 紙	30.7×19.8
『流れる星のサーカス』 16	オーギュスト	1935	アクアティント / 紙	30.9×21.1

光ミュージアム所蔵 美を競う 肉筆浮世絵の世界

国内有数の肉筆浮世絵コレクションを誇りながら、これまでまとめて一般公開されることのなかった光ミュージアム(岐阜県高山市)のコレクションの中から厳選した111点の肉筆浮世絵を一堂に公開する大規模な展覧会を開催した。

江戸中期から明治期の肉筆浮世絵は、依頼主の好みが大いに繁栄された美人画を中心に、その後の世相を反映した歌舞伎絵、名所図、風俗画などへと多様化しながら多くの人気絵師を輩出したが、本展でも宮川長春、葛飾北斎、溪斎英泉、歌川広重、歌川国芳、月岡芳年ら人気の絵師に加え、月岡雪鼎、祇園井特、三島上龍ら上方や地方の絵師たちの江戸に劣らない活躍も併せて紹介できる良い機

会となった。

光ミュージアムの肉筆浮世絵は、ほとんどが額装されており、作品の安全性を確保しながら至近距離で作品を見ることが可能だったため、彫師、摺師の手を介する錦絵と異なる肉筆浮世絵ならではの絵師の筆致、彩色技術、表具の絶妙具合が間近で堪能でき、来館者には大いに喜ばれた。

また、歌川国英筆の《秋色女》をめぐっては、モデルとなった発句の天才少女「秋色」と磐城平藩主第四代安藤対馬守信友公との発句同好を介した浅からぬ繋がりがわかり、いわき市との因縁に新鮮な驚きもあった展覧会だった。

会 期 2019年11月9日(土)～12月15日(日)
会 場 いわき市立美術館 企画展示室
主 催 いわき市立美術館
特別協力 光ミュージアム
監 修 鈴木浩平(美術史家)、故・永田生慈(美術史家・北斎研究家)
企画協力 アートシステム



作品リスト

No.	絵師名	生没年(和暦)	作品名	材質・形状	制作年代	絵寸法(cm)
第1章 肉筆浮世絵の展開						
1	無款	生没年不詳	三味線をひく坐女	絹本着色一幅	元禄年間	104.6×51.7
2	古山師政	生没年不詳	立ち美人	紙本着色一幅	寛保～延享年間	67.0×25.3
3	鳥居清倍	生没年不詳	立ち美人	紙本着色一幅	正徳～享保年間	81.7×31.8
4	無款	生没年不詳	立ち美人	紙本着色一幅	正徳～享保年間	88.6×41.1
5	東川堂里風	生没年不詳	二世中村七三郎	紙本着色一幅	享保年間	93.4×38.0
6	西川照信	生没年不詳	奈良春日若宮社祭礼絵巻	紙本着色一卷	正徳年間	36.0×360.0
7	梅翁軒永春	生没年不詳	立ち美人	紙本着色一幅	正徳～享保年間	99.1×42.2
8	梅翁軒永春	生没年不詳	遊女と猫	紙本着色一幅	正徳～享保年間	35.0×47.4
9	山崎龍女	生没年不詳	色子立姿	紙本着色一幅	享保年間	85.9×32.5
10	宮川長春	天和2～宝暦2年	立ち美人	絹本着色一幅	正徳～享保年間	85.1×32.2
11	宮川長春	天和2～宝暦2年	柳下布さらし	紙本着色一幅	正徳～享保年間	73.8×26.1
12	宮川長春	天和2～宝暦2年	見立琴高仙人	紙本着色一幅	正徳～享保年間	78.7×36.4
13	宮川長亀	生没年不詳	蚊帳美人	紙本着色一幅	享保～寛保年間	89.6×28.7
14	宮川一笑	元禄2～安永8年	桜下美人	紙本着色一幅	元文年間	80.0×29.7
15	宮川一笑	元禄2～安永8年	若衆と美人図	紙本着色一幅	元文～寛保年間	87.2×56.1
16	宮川一笑	元禄2～安永8年	鍾馗と美人	紙本着色一幅	元文末期～寛保年間	62.5×16.4
17	勝川春水	生没年不詳	遊女と禿	紙本着色一幅	宝暦～明和年間頃	58.9×23.9
18	東艶斎花翁	生没年不詳	追い羽根	紙本着色一幅	寛保～寛延年間	83.7×27.8
19	無款	生没年不詳	遊歩美人	絹本着色一幅	寛保～宝暦年間	87.9×30.7
20	川又常行	延宝5年～?	見立遣唐使	紙本着色一幅	享保年間末期～寛保年間頃	74.8×36.7
21	川又常正	生没年不詳	精霊流し	絹本着色一幅	寛保～宝暦年間	96.0×32.7
22	寿香亭吉信	?～文化3年	鼓打つ女	紙本着色一幅	宝暦年間	59.8×26.7
23	至信	生没年不詳	縁先に座る娘と金魚鉢を持つ少女	紙本着色一幅	安永年間中期頃	38.9×48.2
24	司馬江漢	延享4～文政元年	唐美人	絹本着色一幅	天明年間	96.7×38.0
25	磯田湖龍斎	享保20年～?	齒を磨く美人	絹本着色一幅	天明年間	75.2×31.2
26	勝川春章	寛保3～寛政4年	美人と達磨	絹本着色一幅	天明7～8年頃	40.4×48.1
27	勝川春英	宝暦12～文政2年	金太郎	絹本着色一幅	享和～文化年間頃	99.7×29.9
28	勝川春英	宝暦12～文政2年	弁慶	絹本着色一幅	享和～文化年間頃	100.3×29.7
29	勝川春常	?～天明7年	春風歌妓歩行	紙本着色一幅	安永6～天明7年頃	82.0×27.0
30	北尾重政	元文4～文政3年	月を見る美人	紙本着色一幅	天明～寛政年間	93.7×23.6
31	窪俊満	宝暦7～文政3年	雨乞小町	絹本着色一幅	享和～文化年間	94.0×30.6
32	窪俊満	宝暦7～文政3年	桜下美人	絹本着色一幅	文化年間	89.9×30.9
33	二代鳥居清元	生没年不詳	遊女と禿	紙本着色一幅	寛政年間	82.1×27.2
34	水野廬朝	寛延元年～天保7年	雪見美人	絹本着色一幅	寛政年間	86.4×29.6
35	琴風舎豊磨	生没年不詳	遊女と禿	紙本着色一幅	寛政年間	100.0×51.0
36	喜多川月磨	生没年不詳	萩と女	絹本着色一幅	享和年間頃	82.0×29.0
37	喜多川行磨	生没年不詳	母と子	絹本着色一幅	文化年間頃	89.0×31.9
38	喜多川古磨	生没年不詳	傘持つ美人	紙本着色一幅	文化年間	81.0×30.8
39	喜多川長磨	生没年不詳	座敷の二美人図	絹本着色一幅	文化～文政年間	92.7×38.8
40	藤磨	?～文政13年(天保元年)	旅の女	紙本着色一幅	享和～文化年間前期頃	130.5×57.0
41	恋川春政	生没年不詳	遊女	絹本着色一幅	享和～文化年間	86.7×33.2
42	無款	生没年不詳	南駅の女	絹本着色一幅	文化年間頃	108.9×49.8
43	鳥文斎栄之	宝暦6～文政12年	小野小町	絹本着色一幅	寛政年間	97.3×33.2
44	鳥文斎栄之	宝暦6～文政12年	浅草歳の市	紙本着色一幅	文化年間	105.3×33.5

No.	絵師名	生没年(和暦)	作品名	材質・形状	制作年代	絵寸法(cm)
45	鳥園斎栄深、 鳥君山	生没年不詳	円窓の三美人	絹本着色一幅	寛政年間	103.5×48.2
46	一貫斎栄尚	生没年不詳	芸者立姿	絹本着色一幅	寛政～文化年間	86.0×27.6
47	高田栄晁	生没年不詳	浴後美人	絹本着色一幅	文化年間	98.3×25.8
48	礪川亭永理	宝暦9年～?	遊女	絹本着色一幅	文化年間	82.4×28.5
49	玄珠斎栄暁	生没年不詳	遊女と禿	絹本着色一幅	文政年間	34.0×56.3

第2章 百花繚乱・多彩な作品群

50	葛飾北斎	宝暦10～嘉永2年	日 龍 月	紙本着色三幅 対	寛政12～文化5年	各)103.1× 17.5
51	葛飾北斎	宝暦10～嘉永2年	日蓮	紙本着色一幅	文化8～文政3年	40.6×20.3
52	葛飾北斎	宝暦10～嘉永2年	浅妻舟	紙本着色一幅	文化～文政年間	84.0×26.5
53	葛飾北斎	宝暦10～嘉永2年	豫譲	紙本着色一幅	弘化3年	29.0×50.5
54	昇亭北寿	生没年不詳	遊女道中	紙本着色一幅	寛政～文化年間	89.8×26.6
55	柳々居辰斎	生没年不詳	娘と従者	紙本着色一幅	寛政後期～文政年間	86.1×26.6
56	蹄斎北馬	明和7～弘化元年	田植え	絹本着色一幅	文化～天保年間	100.0×35.8
57	蹄斎北馬	明和7～弘化元年	桜下美人	絹本着色一幅	文化～天保年間	94.0×38.6
58	葛飾北明	生没年不詳	行燈美人	絹本着色一幅	文化～文政年間	94.1×27.3
59	抱亭五清	?～天保6年	菊を愛でる美人	絹本着色一幅	文化～文政年間	79.9×31.8
60	抱亭五清	?～天保6年	遊女に憧れる女	絹本着色一幅	文化～天保6年	82.0×32.2
61	葛飾雷周	生没年不詳	二つ枕	紙本着色一幅	文化～文政年間	31.4×44.9
62	駿斎連馬	生没年不詳	ほととぎすと遊女	絹本着色一幅	文化～文政年間	81.4×27.7
63	葛飾為直	生没年不詳	見立普賢菩薩	絹本着色一幅	天保～安政6年	89.7×35.1
64	葛飾為直	生没年不詳	燈台	紙本着色一幅	天保～安政6年	85.3×28.3
65	溪斎英泉	寛政3～嘉永元年	立ち美人	絹本着色一幅	文政年間	98.3×32.4
66	二代鳥居清満	天明7～明治元年	雪中傘さし美人	絹本着色一幅	文化～弘化年間	83.2×36.4
67	勝川春扇	生没年不詳	湯上り美人	紙本着色一幅	文化3～文政2年頃	88.3×26.5
68	喜多武清	安永5～安政3年	ほろ酔い	絹本着色一幅	享和～嘉永年間	90.6×30.0
69	岩瀬京水	文化13～慶応3年	蛭狩	絹本着色一幅	文政～安政年間	59.2×94.2
70	無款	生没年不詳	両国花火	絹本着色一幅	文政～天保年間	22.8×50.3
71	歌川豊春	享保20～文化11年	遊女と禿	絹本着色一幅	寛政年間頃	41.6×33.7
72	歌川豊国	明和6～文政8年	桜下遊女と禿図	絹本着色一幅	寛政年間中期	90.3×29.3
73	歌川国政	安永2～文化7年	立ち美人	紙本着色一幅	寛政8年頃	94.0×21.3
74	歌川国重	生没年不詳	簾をあげる女	絹本着色一幅	文政年間頃	100.1×39.7
75	歌川国安	寛政6～天保3年	立ち美人	絹本着色一幅	文政年間頃	93.8×33.2
76	歌川国次	寛政12～文久元年	三囲の三代目尾上菊五郎と芸妓	紙本着色双幅	文政年間頃	各)97.0×28.1
77	歌川国宗	生没年不詳	犬と遊ぶ美人	絹本着色一幅	文政年間頃	81.5×31.8
78	歌川国宗	生没年不詳	杜若と美人	絹本着色一幅	文政年間頃	94.4×36.3
79	歌川国宗	生没年不詳	爪切り	絹本着色一幅	文政年間頃	82.6×29.5
80	歌川国勝	生没年不詳	三味線の稽古	絹本着色一幅	天保～弘化年間頃	85.5×41.8
81	歌川国英	生没年不詳	秋色女	紙本着色一幅	文政年間頃	57.8×57.8
82	歌川国久	生没年不詳	母と子	紙本着色一幅	文化年間	93.4×41.7
83	歌川国久	生没年不詳	虫を採る女	絹本着色一幅	文化年間前期	80.6×31.3
84	歌川豊広	?～文政12年	遊女と禿	紙本着色一幅	寛政年間前期	105.0×37.0
85	歌川広重	寛政9～安政5年	月夜雁を聴く女	紙本淡彩一幅	安政年間前期	85.7×27.6
86	歌川広重	寛政9～安政5年	炭竈図	絹本淡彩一幅	安政年間前期	40.0×53.3
87	鳥羽広丸	生没年不詳	遊女	紙本着色一幅	文化年間後期	115.5×27.5
88	二代歌川広重	文政9～明治2年	渡月橋	絹本着色一幅	安政6～慶応元年	66.7×29.4
89	歌川国芳	寛政9～文久元年	緑台美人	絹本着色一幅	嘉永年間	111.2×48.3

No. 絵師名	生没年(和暦)	作品名	材質・形状	制作年代	絵寸法(cm)
90 豊原国周	天保6～明治33年	五俳優	絹本着色一幅	明治3～6年頃	54.0×80.1
91 歌川国蔵	生没年不詳	遊女と禿	紙本着色一幅	明治初期頃	111.7×57.0
92 歌川貞景	生没年不詳	足洗い	絹本着色一幅	文政～天保年間	81.5×33.5
93 歌川貞秀	文化4～明治11年?	二美人	絹本着色一幅	天保～明治初期頃	105.1×49.2
94 月岡芳年	天保10～明治25年	桜下美人	絹本着色一幅	慶応～明治年間初年頃	96.8×27.3

第3章 上方と地方で描かれた肉筆浮世絵の展開

95 川枝豊信	?～享保17年/20年?	精霊祭	紙本着色一幅	享保年間	91.7×34.5
96 月岡雪鼎	享保11～天明6年	雛人形を抱く遊女	紙本着色一幅	明和年間初期	89.2×28.2
97 月岡雪鼎	享保11～天明6年	見立曾我十郎と虎御前	絹本着色一幅	明和2年	86.7×31.4
98 月岡雪鼎	享保11～天明6年	男舞	絹本着色一幅	明和年間末期～安永7年	90.0×27.9
99 月岡雪鼎	享保11～天明6年	遊女	絹本着色一幅	天明2～3年頃	69.5×34.3
100 墨江武禪	享保19～文化3年	夕暮れの庭	紙本着色一幅	安永年間	116.0×45.5
101 月岡雪斎	?～天保10年	美人遊戯	絹本着色一幅	寛政～天保年間	103.0×44.4
102 無款	生没年不詳	大原女	絹本着色一幅	天保～慶応年間頃	44.5×109.6
103 祇園井特	宝暦5?～文化12年以降	紐を結ぶ女	絹本着色一幅	文化年間	90.4×40.2
104 祇園井特	宝暦5?～文化12年以降	子守	紙本着色一幅	文化12年	82.8×32.5
105 三島上龍	?～弘化4年以前	花吹雪	絹本着色一幅	天保年間	127.5×54.1
106 吉原真龍	文化元～安政3年	紅葉の下	紙本着色一幅	天保～弘化年間	126.1×48.5
107 吉原真龍	文化元～安政3年	汐汲みの舞	絹本着色一幅	天保～弘化年間	109.8×42.9
108 吉原真龍	文化元～安政3年	潮干狩	絹本着色一幅	天保～弘化年間	47.2×68.9
109 昌盛	生没年不詳	舞姫	絹本着色一幅	天保年間以降	103.2×44.8
110 大石真虎	寛政4～天保4年	遊女と禿	絹本着色一幅	文政年間	130.0×60.6
111 周幽斎夏龍	生没年不詳	物思う女	紙本着色一幅	寛政～文化年間頃	118.0×26.0

令和元年度 いわき市小・中学生版画展

「いわき市小・中学生版画展」は、いわき市内の児童生徒の日ごろの活動の成果を広く市民に紹介するとともに、児童生徒が造形学習や表現行為への興味と喜びを体験する機会とすることを目的に開館以来開催を続けてきた展覧会である。

今回は、共同作品による作品募集、各校の代表作品を掲載したパンフレットの制作など、例年通りの取り組みを継続して開催。昨年度よりも参加校、参加者数、出品点数は減少したため展示会場に余裕がでたことから、会期を今までの2期（前・後期）から1期で開催した。出品点数減少という要因から1期展示となったが、美術館全体に適度な余裕を持って展示することができたこと、各学校の展示期間が長くなったことで来館しやすくなり版画展参加者における入場者の割合が

97%（例年 60%程度）と大幅に上昇したことなど、プラス効果がうまれ1期展示は好評だった。学校アンケートにも「会期が長くなったため行きやすくなった。」という意見が多くみられた。

会期中の催し物としては、セロテープアート作家 瀬畑亮氏による わくわくアートスクール「みんなのセロテープ工作」、無国籍音楽団 馬喰町バンドによる春を祝うコンサート&パフォーマンス「おめでとう！春」、大道芸人 HARO 氏、森田智博氏によるパフォーマンス「大道芸がやってくる!」、恒例のかんたん！版画 体験コーナー「エンボス版画とフロッタージュでオリジナルのカードをつくろう!」を開催し、どの催し物も好評を得た。

会 期 2020年1月5日(日)～1月26日(日)

会 場 いわき市立美術館

主 催 いわき市教育委員会、いわき市立美術館

協 力 いわき市小学校教育研究会図画工作部会、いわき市中学校教育研究会美術部会



■参加校及び出品点数

参 加 校	44 校	小 学 校 中 学 校 特別支援教育諸学校	35 校 5 校 4 校
出 品 点 数	191 点	小 学 校 中 学 校 特別支援教育諸学校	135 点 9 点 47 点
参加者数	3,539 人	小 学 校 中 学 校 特別支援教育諸学校	3,075 人 235 人 229 人

■参加校一覧

【小学校】

平第一小学校
 平第二小学校
 平第五小学校
 平第六小学校
 中央台北小学校
 中央台南小学校
 中央台東小学校
 豊間小学校
 夏井小学校
 四倉小学校
 大浦小学校
 大野第一小学校
 久之浜第二小学校
 川前小学校
 桶壳小学校
 小白井小学校
 綴小学校
 御厩小学校
 好間第一小学校
 小名浜第一小学校
 小名浜第二小学校
 小名浜東小学校
 鹿島小学校
 永崎小学校
 泉小学校
 湯本第二小学校
 湯本第三小学校
 磐崎小学校
 植田小学校
 汐見が丘小学校
 錦東小学校

勿来第二小学校
 川部小学校
 入遠野小学校
 いわき秀英小学校

【中学校】

中央台南中学校
 桶壳中学校
 泉中学校
 磐崎中学校

【特別支援教育諸学校】

聴覚支援学校平校
 富岡支援学校
 平支援学校
 いわき支援学校



ニューアートシーン・イン・いわき

菅野博子展

いわきのアートシーンに新しい風を呼びこもうとする「ニューアートシーン・イン・いわき」シリーズ。平成3年から始め、第45回目となる今回は、いわき市在住の菅野博子を取り上げた。

1963年いわき市生まれの菅野は、都留文科大学卒業後、福島県で小学校教諭を6年間務めた後、絵画に本格的に取り組むため、多摩美術大学二部デザイン学科およびセツ・モードセミナーで学び、イラストや絵本の絵のほか、身近な人物や猫などをモチーフに絵を描いている。

物語を絵でわかりやすく伝える技術を磨いた彼女の作品は、内容が理解しやすいとともに、人となりなど内面的な世界を深く捉えている。また、色彩や構成感覚にすぐれた絵は、独特の味や詩情を醸し出し、造形作品として魅力的なものになっている。

今回の展覧会では新作を含めたこの10年ほどの約60点の作品で、菅野博子の絵画世

界を紹介した。ほとんどの作品には作家による簡単なコメントが付けられ、じっくりと鑑賞している方が多いように見受けられた。

来館者の反応を探るため、また、主体的に鑑賞してもらうために、会場で作品の人気投票を行ったが、会期中に137票の投票があった。「ほっこりした」、「和んだ」、「癒された」などの感想が多く寄せられ、好評であったことがうかがえた。

また、会期中には、アーティスト・トークを実施し、参加者には作家からオリジナル・カレンダーがプレゼントされ、好評を博した。なお、同時開催として、いわきアリオスのカフェでアリオスとの連携事業の菅野博子展が開催された。こちらではアリオスの利用者を考慮し、映画関係の作品が中心に展示された。

会 期 2019年9月7日(土)～10月20日(日)

会 場 いわき市立美術館 1階ロビー

主 催 いわき市立美術館



作品リスト

No.	作品名	制作年	技法	サイズ(縦×横cm)	No.	作品名	制作年	技法	サイズ(縦×横cm)
1	渚 44 番地	2007	アクリル彩・紙	37.7×56.3	44	小学一年生	2014	アクリル彩・紙	35.9×26.0
2	ハルコさん No.4	2008	色鉛筆・紙	36.4×25.7	45	父—入院	2014	アクリル彩・紙	56.3×37.5
3	漁師の倉庫	2008	アクリル彩・紙	41.9×52.9	46	ワインおじさん in スペイン	2015	アクリル彩・紙	32.1×23.2
4	シクラメンとミィ〜	2008	アクリル彩・紙	18.0×12.0	47	映画『ディオールと私』	2015	アクリル彩・紙	23.1×31.7
5	ミィ〜のライバル	2008	色鉛筆・紙	28.0×33.0	48	庭で寝そべるミィ〜	2015	アクリル彩・紙	56.5×37.5
6	薔薇	2008	色鉛筆・紙	27.1×22.3	49	ミィ〜のお気に入りの場所	2015	アクリル彩・紙	37.3×56.0
7	魚重さん	2009	アクリル彩・紙	56.5×37.3	50	88 歳のハルコさん	2016	アクリル彩・紙	56.2×37.0
8	千重子さんの畑	2009	アクリル彩・紙	28.2×23.0	51	絵本『ゆきのひのおかいもの』原画 (全 16 点)	2016	アクリル彩・紙	(25.2×24.0、25.2×48.0など)
9	和田誠さん	2009	アクリル彩・紙	19.0×19.0	52	大ちゃん in 和歌山	2018	アクリル彩・紙	40.0×32.3
10	カリスマ美容師 in IWAKI	2009	アクリル彩・紙	18.5×18.5	53	デラックスケーキ	2018	アクリル彩・紙	23.0×28.0
11	菜の花	2009	アクリル彩・紙	37.3×55.8	54	ハルコさん—入院	2019	アクリル彩・紙	57.8×39.3
12	小浜漁港	2009	アクリル彩・紙	37.5×56.2	55	春の江畑町	2019	オイルパステル・紙	24.2×33.2
13	わかめ干し	2009	アクリル彩・紙	37.8×56.0	56	春の山田町	2019	アクリル彩・紙	58.5×78.0
14	朝のミィーティング	2009	アクリル彩・紙	37.8×55.8	57	庭の車の上のミィ〜	2019	アクリル彩・紙	39.2×57.8
15	帰りを待つミィ〜	2009	アクリル彩・紙	55.8×37.5	58	アトリエのミィ〜	2019	アクリル彩・紙	28.0×28.0
16	ミィ〜と太郎	2009	アクリル彩・紙	55.8×37.7					
17	丹野歌子さん	2010	アクリル彩・紙	56.5×37.5					
18	クリーニング店の看板娘	2010	アクリル彩・紙	56.5×37.5					
19	大垣宏さん	2010	アクリル彩・紙	56.7×37.7					
20	初めての入院	2010	アクリル彩・紙	56.5×37.7					
21	雨の日のミィ〜	2010	アクリル彩・紙	56.5×37.5					
22	ビー太	2010	アクリル彩・紙	56.3×37.5					
23	元朝参り	2011	アクリル彩・紙	56.3×37.5					
24	ハルコさん No.6	2011	アクリル彩・紙	56.5×37.5					
25	小浜の海	2011	アクリル彩・紙	71.8×50.5					
26	小浜漁港	2011	アクリル彩・紙	37.5×55.7					
27	冬の日	2011	アクリル彩・紙	30.0×30.0					
28	食事前のミィ〜	2011	アクリル彩・紙	29.6×23.5					
29	震災後のビー太	2011	アクリル彩・紙	56.3×37.5					
30	エールフランスのスケジュール	2012	アクリル彩・紙	56.3×37.6					
31	恋人たち	2012	アクリル彩・紙	56.3×37.5					
32	赤い室内	2012	アクリル彩・紙	56.0×37.8					
33	モン・サン・ミッシェル	2012	アクリル彩・紙	56.2×37.5					
34	久に定さん	2012	アクリル彩・紙	56.2×37.7					
35	大ちゃん	2012	アクリル彩・紙	56.4×37.7					
36	エッフェル塔	2012	アクリル彩・紙	35.9×26.0					
37	くだもの屋	2012	アクリル彩・紙	37.6×56.2					
38	台所のミィ〜	2012	アクリル彩・紙	56.2×37.8					
39	志賀さんとミィ〜	2012	アクリル彩・紙	37.7×56.3					
40	ミィ〜	2012	アクリル彩・紙	56.4×37.7					
41	映画『息もできない』	2013	アクリル彩・紙	43.8×27.5					
42	こたつの中のミィ〜 (絵本『うちのミィ〜』から)	2013	アクリル彩・紙	29.0×42.6					
43	日差しをさけて②	2013	アクリル彩・紙	56.3×37.5					

亀倉、ウォーホル、リクテンスタイン…

現代美術のアスリートたち

——所蔵オリンピックポスターによる

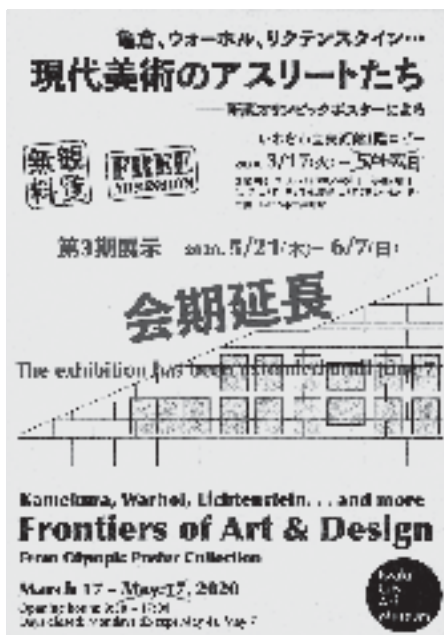
所蔵オリンピックポスター（1972年ミュンヘン大会、1984年ロサンゼルス大会、1984年サラエボ大会のアートポスター、1988年ソウル大会のカルチャーポスター）の中から計53点、さらに市内の所蔵者から借用した1964年東京大会の公式ポスター4種を加え、3期に分けて展示替えをしながら紹介。美術館1階ロビーから2階へ向かう階段の側壁を利用し、二段掛けで各会期約20点を展示した。

本展を機に、実態を把握していなかったオリンピックポスターの概要や各作品の制作背景を調査し、各作品のデータ（作家名、作品名、制作年など）を見直した。3期にわたって全作品に解説パネルを用意し、さらに鑑賞

ガイドを作成して無料配布することで、得られた知見を余すところなく提供した。

新型コロナウイルス感染防止のための緊急事態宣言を受け、第2期の途中で美術館は臨時休館。5月21日の再開に合わせ、第3期の展示から再開した。5月2日に予定していた担当学芸員によるスライドトークは中止となった。世情を受け来客は振るわなかったものの、アンケートでは、なかなか目にすることのないポスターを鑑賞できたこと、また、オリンピックポスターの概要を知ることができたことに対し、満足する意見が寄せられた。また3つの会期全てを観覧して楽しんだという意見も見受けられた。

会 期 第1期：2020年3月17日(火)～2020年4月 5日(日)
第2期：2020年4月 7日(火)～2020年4月17日(金)
第3期：2020年5月21日(木)～2020年6月 7日(日)
会 場 いわき市立美術館 1階ロビー
主 催 いわき市立美術館



作品リスト

No.	作者	作品名	制作年	技法	サイズ(cm)	所蔵
第1期：3月17日(火)～4月5日(日)						
特別出品 1964年東京オリンピック公式ポスター						
1-1	亀倉雄策	《東京オリンピック 公式ポスター第4号》	1964	グラビア、紙	103.0×72.8	個人蔵
1-2	亀倉雄策	《東京オリンピック 公式ポスター第3号》	1963	グラビア、紙	103.0×72.8	個人蔵
1972年ミュンヘンオリンピック・アートポスター《エディツィオン・オリュンピア 1972》						
1-3	ヴィクトル・ヴァザルリ	《1972年ミュンヘンオリンピック競技大会》	1970	オフセット、紙	101.0×64.0	
1-4	アンズ・アルトゥング	《1972年ミュンヘンオリンピック競技大会》	1969-70	オフセット、紙	101.0×64.0	
1-5	オスカー・ココシユカ	《1972年ミュンヘンオリンピック競技大会》	1969-70	オフセット、紙	101.0×64.0	
1-6	パウル・ヴンダーリッヒ	《1972年ミュンヘンオリンピック競技大会》	1972	グラビア、紙	101.0×64.0	
1-7	ビュール・スーラージュ	《1972年ミュンヘンオリンピック競技大会》	1970	オフセット、紙	101.0×64.0	
1984年ロサンゼルスオリンピック・アートポスター						
1-8	サム・フランシス	《1984年ロサンゼルスオリンピック競技大会》	1982	オフセット、紙	91.5×61.5	
1-9	ビリー・アル・ベングストン	《1984年ロサンゼルスオリンピック競技大会》	1982	オフセット、紙	91.5×61.5	
1-10	カルロス・アルマラス	《1984年ロサンゼルスオリンピック競技大会》	1982	オフセット、紙	91.5×61.5	
1-11	リチャード・ディーベンコー ン	《1984年ロサンゼルスオリンピック競技大会》	1982	オフセット、紙	61.5×91.5	
1-12	ロバート・ラウシェンバーク	《1984年ロサンゼルスオリンピック競技大会》	1982	オフセット、紙	61.5×91.5	
1984年サラエボオリンピック・アートポスター《芸術とスポーツ》						
1-13	ミルトン・グレイザー	《オリンピック輪投げ》	1983	オフセット、紙	91.5×61.0	
1-14	アンディ・ウォーホル	《スピードスケーター》	1983	オフセット、紙	91.5×61.0	
1-15	ミンモ・パラディーノ	《ボブ》または《ボブスレー》	1983	オフセット、紙	85.0×64.0	
1-16	ゴットフリート・ヘルンヴァ イン	《勝者》	1983	オフセット、紙	85.0×64.0	
1-17	ジャン＝ミシェル・フォロン	《ジャンプ》	1983	オフセット、紙	91.5×61.0	
1-18	イジー・コラーシュ	《スキー》	1983	オフセット、紙	85.0×64.0	
1988年ソウルオリンピック・カルチャーポスター						
1-19	アン・チュンウン	《扇の舞（ブチェチュム）》	1987	オフセット、紙	99.0×59.5	
1-20	オー・ビュンクオン	《百済の冠》	1987	オフセット、紙	99.0×59.5	
第2期：4月7日(火)～4月17日(金)						
特別出品 1964年東京オリンピック公式ポスター						
2-1	亀倉雄策	《東京オリンピック 公式ポスター第4号》	1964	グラビア、紙	103.0×72.8	小泉屋文庫
2-2	亀倉雄策	《東京オリンピック 公式ポスター第3号》	1963	グラビア、紙	103.0×72.8	小泉屋文庫
1972年ミュンヘンオリンピック・アートポスター《エディツィオン・オリュンピア 1972》						
2-3	アラン・ダーカンジェロ	《1972年ミュンヘンオリンピック競技大会》	1971	オフセット、紙	101.0×64.0	
2-4	フリーデンスライヒ・フンデ ルトワッサー	《1972年ミュンヘンオリンピック競技大会》	1972	グラビア、紙	101.0×64.0	
2-5	ピーター・フィリップス	《1972年ミュンヘンオリンピック競技大会》	1972	グラビア、紙	101.0×64.0	
2-6	マリノ・マリニー	《1972年ミュンヘンオリンピック競技大会》	1969-70	オフセット、紙	101.0×64.0	
2-7	R・B・キタイ	《1972年ミュンヘンオリンピック競技大会》	1971	オフセット、紙	101.0×64.0	
2-8	デイヴィッド・ホックニー	《1972年ミュンヘンオリンピック競技大会》	1971	グラビア、紙	101.0×64.0	
1984年ロサンゼルスオリンピック・アートポスター						
2-9	ジュニアファー・パートレット	《1984年ロサンゼルスオリンピック競技大会》	1982	オフセット、紙	91.5×61.5	
2-10	デイヴィッド・ホックニー	《1984年ロサンゼルスオリンピック競技大会》	1982	オフセット、紙	91.5×61.5	
2-11	ゲイリー・ウィノグラッド	《1984年ロサンゼルスオリンピック競技大会》	1982	オフセット、紙	61.5×91.5	
2-12	ロイ・リクテンスタイン	《1984年ロサンゼルスオリンピック競技大会》	1982	オフセット、紙	61.5×91.5	
2-13	レイモンド・ソーンダース	《1984年ロサンゼルスオリンピック競技大会》	1982	オフセット、紙	91.5×61.5	

No.	作者	作品名	制作年	技法	サイズ(cm)	所蔵
1984年サラエボオリンピック・アートポスター《芸術とスポーツ》						
2-14	ミケランジェロ・ピストレッ ト	《祭典》または《風船》	1983	オフセット、紙	85.0×64.0	
2-15	ジェームズ・ローゼンクイ ス	《雪片（氷点）》	1983	オフセット、紙	91.5×61.0	
2-16	サイ・トゥオンブリー	《グラフィティ》	1983	オフセット、紙	85.0×64.0	
2-17	エミリオ・グレコ	《平和》	1983	オフセット、紙	85.0×64.0	
2-18	ガブリエル・ステューピカ	《勝利》または《花嫁ビクトリア》	1983	オフセット、紙	85.0×64.0	
1988年ソウルオリンピック・カルチャーポスター						
2-19	ユ・ヨンウー	《秘められた世界》	1987	オフセット、紙	99.0×59.5	
2-20	ヤン・ソンチョン	《日月五峰図》	1987	オフセット、紙	99.0×59.5	
第3期：5月21日（木）～6月7日（日）						
特別出品 1964年東京オリンピック公式ポスター						
3-1	亀倉雄策	《東京オリンピック 公式ポスター第2号》	1962	グラビア、紙	103.0×72.8	個人蔵
3-2	亀倉雄策	《東京オリンピック 公式ポスター第1号》	1961	グラビア、紙	103.0×54.8	個人蔵
3-3	亀倉雄策	《東京オリンピック 公式ポスター第3号》	1963	グラビア、紙	103.0×72.8	小泉屋文庫
3-4	亀倉雄策	《東京オリンピック 公式ポスター第4号》	1964	グラビア、紙	103.0×72.8	個人蔵
1972年ミュンヘンオリンピック・アートポスター《エディツィオン・オリュンピア 1972》						
3-5	セルジュ・ボリアコフ	《1972年ミュンヘンオリンピック競技大会》	1969-70	オフセット、紙	101.0×64.0	
3-6	アレン・ジョーンズ	《1972年ミュンヘンオリンピック競技大会》	1970	リトグラフ、紙	101.0×64.0	
3-7	ジョセフ・アルバース	《1972年ミュンヘンオリンピック競技大会》	1971	セリグラフ、紙	101.0×64.0	
3-8	ジェイコブ・ローレンス	《1972年ミュンヘンオリンピック競技大会》	1972	オフセット、紙	101.0×64.0	
3-9	荒川修作	《1972年ミュンヘンオリンピック競技大会》	1970	オフセット、紙	101.0×64.0	
3-10	ホルスト・アンテス	《1972年ミュンヘンオリンピック競技大会》	1970	オフセット、紙	101.0×64.0	
1984年ロサンゼルスオリンピック・アートポスター						
3-11	マーティン・パーイヤー	《1984年ロサンゼルスオリンピック競技大会》	1982	オフセット、紙	61.5×91.5	
3-12	リンダ・ベングリス	《1984年ロサンゼルスオリンピック競技大会》	1982	オフセット、紙	61.5×91.5	
3-13	エイブリー・グレイマン、ジェ イム・オジャース	《1984年ロサンゼルスオリンピック競技大会》	1982	オフセット、紙	91.5×61.5	
3-14	ジョン・バルデッサリ	《1984年ロサンゼルスオリンピック競技大会》	1982	オフセット、紙	91.5×61.5	
3-15	ジョナサン・ボロフスキー	《1984年ロサンゼルスオリンピック競技大会》	1982	オフセット、紙	91.5×61.5	
1984年サラエボオリンピック・アートポスター《芸術とスポーツ》						
3-16	ヘンリー・ムーア	《オリュンポスの神々》	1983	オフセット、紙	85.0×64.0	
3-17	ハワード・ホッジキン	《歓迎》または《松の木》	1983	オフセット、紙	85.0×64.0	
3-18	浜口陽三	《さくらんぼと青い鉢》	1983	オフセット、紙	85.0×64.0	
3-19	ファン・キューバイ	《ウサギとカメ》	1983	オフセット、紙	85.0×64.0	
1988年ソウルオリンピック・カルチャーポスター						
3-20	キム・ヨンキー	《太鼓踊り》	1987	オフセット、紙	99.0×59.5	
3-21	ズン・フーヨン	《狩猟》	1987	オフセット、紙	99.0×59.5	

※所蔵表記のないものは全ていわき市立美術館蔵

第 49 回いわき市民美術展覧会

会 期 書の部

2020年2月 7日(金)～2月16日(日)

絵画・彫塑の部

2020年2月21日(金)～3月 1日(日)

陶芸の部

2020年3月 6日(金)～3月15日(日)

写真の部

2020年3月 6日(金)～3月15日(日)

会 場 いわき市立美術館企画展示室

主 催 いわき市民美術展覧会運営委員会
いわき市教育委員会 いわき市文化協会
いわき市立美術館

後 援 (財)福島県報徳社 福島民報社
福島民友新聞社 いわき民報社
NHK福島放送局 ラジオ福島
福島テレビ 福島中央テレビ 福島放送
テレビユー福島
いわき市民コミュニティ放送

協 力 いわき美術協会 いわき陶芸協会
いわき書道協会 いわきアート集団
いわき写真協会

審査員 書の部 吉澤鐵之(書家)
絵画・彫塑の部 遠藤彰子
(画家、武蔵野美術大学名誉教授)
陶芸の部 筒井 修(陶芸家)
写真の部 藤森邦彰
(フォトコン編集長)

●書の部

一般応募 79点(内、青少年2点)

展示点数102点(招待23点(内、遺作展示2点)、
一般79点)

●絵画・彫塑の部

一般応募195点(内、青少年19点)

展示点数205点(招待10点、一般195点)

●陶芸の部

一般応募105点(内、青少年14点)

展示点数116点(招待11点、一般105点)

●写真の部

一般応募173点(内、青少年0点)

展示点数175点(招待2点、一般173点)

書の部は、昨年に比べ応募点数が12点減、招待にも物故者が2名あり、展示作品の減少に歯止めがかからない状況である。若年層への書道文化啓発を目的の一つに昨年より始めた「高校生による書道パフォーマンス」は、参加学年が2学年に増え、昨年の経験を生かしたスムーズで活気のある内容が好評を得た。絵画・彫塑の部では、応募点数は2点増えたものの招待が3点減して昨年より1点減少。しかしながら、市長賞、議長賞、教育長賞の上位3賞を20代、30代が受賞し、参加者層の充実と若返りが今後に期待される年となった。陶芸の部では、出品者数が12点減少し、そのうち8点が青少年という残念な結果となった。写真の部でも、応募点数は4点増えたものの昨年11人の応募があった青少年が0点と振るわず、書、陶芸とともに、教育現場の理解や若年層の興味関心を促す工夫にさらなる知恵を絞る必要性を切に感じる。

また今年は、全国的な新型コロナウイルス感染症拡大による打撃を大きく受けた年でもあり、会期が3月であった陶芸の部と写真の部にいたっては、表彰式、イベント総てが中止となり、関係者を大いに落胆させることとなった。



書の部入賞者

賞 名	題 名	氏 名	住 所
いわき市長賞	廉頗藺相如列伝	馬 上 溪花	平中山
いわき市議会議長賞	陳綱詩	丹 野 清波	小名浜岡小名
いわき市教育委員会教育長賞 《佳作》	静 慮	藤 田 桂雪	四倉町
いわき市文化協会会長賞	杜甫詩	金 成 大雅	中央台
福島県報徳社賞	新古今集より	西 恵美子	四倉町
福島県報徳社賞	長楽萬年	河 治 奇雲	山玉町
美術館友の会賞	臨孔家坡前漢簡	佐 藤 景苑	平
有限会社トーカイ賞	島崎藤村の詩	阿 部 嶋泉	平下平窪
遠藤一心堂賞	野 泊	上遠野 遊	鹿島町米田
//	杜甫詩	吉 村 翠苑	平
株式会社坂本紙店賞	杜子美詩	田 中 京華	小名浜
有限会社磐植賞	新古今和歌集	村 上 春香	常磐関船町
キョー和賞	棧 道	古和口 瑛香	中岡町
株式会社風雅プランニング賞	連雲勢	斎 藤 福庵	郷ヶ丘
//	ほのぼのと	小 林 きみ子	平沼ノ内
ガスワン賞（常磐共同ガス株式会社）	天上謠	小 野 恵風	平中山
ひまわり信用金庫賞	絶好繁二月天濠	新 妻 心葉	郷ヶ丘
《特別賞》			
青少年賞（西田アトリエ賞）	郎士元詩	片 岡 瑞恵	渡辺町田部

※青少年賞は、若手育成を目的とした賞で、20歳未満の出品者を対象とする。

絵画・彫塑の部入賞者

賞 名	題 名	氏 名	住 所
いわき市長賞	未来への渴望	中塚 將太	常磐上湯長谷町
いわき市議会議長賞	宇宙速度	四 家 友幸	中央台
いわき市教育委員会教育長賞 《佳作》	大地に宿る	佐 藤 沙月	常磐西郷町
いわき市文化協会会長賞	DYSTOPIA Čerenkov 放射	吉 田 重信	平下荒川
福島県報徳社賞	卍	鈴 忠壽	鹿島町走熊
//	世界に平和をジョン・レノンー2020	大塚 浩司	中央台
//	吾が輩は猫である	木 村 律子	平中神谷
美術館友の会賞	私のいわき	幡 野 ゆり	平赤井
有限会社トーカイ賞	幻想 -18	伊 藤 集三	平下神谷
株式会社箱崎美術広告社賞	秋の譜	若 林 喜代子	植田町
椿屋賞	僕自身のための心理療法	高 木 武廣	小名浜
昭文堂賞	明日への想い	佐 藤 俊之	泉ヶ丘
//	苔衣	藤 於 環	常磐上湯長谷町
画廊喫茶モナミ賞	ファウスト（二）	野 島 美穂	内郷御厩町
ギャラリー磐城賞	軌跡ーそして8年ーⅡ	佐々木 寿子	錦町
アーツスペース泉賞	群青きらめく	廣 木 賢一	平南白土
アーツスペース エリコーナ賞	1-12-2 協奏曲のために（猪苗代湖）	松 江 州泰	常磐関船町
ガスワン賞（常磐共同ガス株式会社）	波動	薄 美可	平下荒川
ひまわり信用金庫賞	深食	深 谷 天音	平南白土
《特別賞》			
青少年（ギャラリーわづくりや）賞	繋がり	宮 崎 好美	平北白土
青少年奨励（X）賞	未来への渴望	中塚 將太	常磐上湯長谷町

※青少年賞は、若手育成を目的とした賞で、20歳未満の出品者を対象とする。

※青少年奨励（X）賞は、美術を志す青少年育成のため、25歳以下の上位受賞者を対象にダブル授与される。

陶芸の部入賞者

賞 名	題 名	氏 名	住 所
いわき市長賞	七 輪	横須賀 政雄	三和町上永井
いわき市議会議長賞	TOKYO 2020	横山 猛	草木台
いわき市教育委員会教育長賞 《佳作》	風と葉－奏	芳賀 明美	中央台
いわき市文化協会会長賞	ご褒美はワ・タ・シ	ユツカリ工房	平下高久
福島県報徳社賞	彩 2020	荻野 イチ子	泉町
美術館友の会賞	彩磁椿文鉢	伊藤 由季子	小名浜上神白
M氏賞（いわき陶芸協会）	緑 炎	青木 有紀	郷ヶ丘
ギャラリー界隈賞	象嵌夫婦茶碗	山崎 淳司	田人町南大平
ギャラリー磐城賞	夢を飾って	橋本 栄子	内郷御厩町
アートスペース泉賞	UFO	キダ サトコ	平下大越
ガスワン賞（常磐共同ガス株式会社）	孫への贈りもの	佐藤 淑子	泉ヶ丘
ひまわり信用金庫賞 《特別賞》	土に恋して 薔薇 2020	高橋 晴美	内郷御台境町
青少年賞 東日本国際大学附属昌平中学・高等学校賞	佐藤祥一	大友 春貴	好間町中好間

※青少年賞は、若手育成を目的とした賞で20歳未満の出品者を対象とする

写真の部入賞者

賞 名	題 名	氏 名	住 所
いわき市長賞	特等席	小泉 裕	小名浜岡小名
いわき市議会議長賞	夕日差込む	江尻 利一	泉玉露
いわき市教育委員会教育長賞 《佳作》	洗濯日和	高木 志津夫	小名浜
いわき商工会議所会頭賞	桜と共に…	田名部 貞雄	石森
いわき市文化協会会長賞	競 演	相馬 聡	中央台
福島県報徳社賞	浜辺の朝	横山 孝	石森
美術館友の会賞	乱光跡	比佐 勇	常磐上湯長谷町
社団法人 いわき観光まちづくりビューロー賞	それぞれ	サトウ シンゴ	平
//	水かけ祭	遠藤 文夫	平下神谷
福島県写真館協会いわき支部賞	ファミリー	吉田 正男	中央台
昭文堂賞	里山風情	高橋 順一	岩間町
東日本国際大学賞	シャッターチャンス	丹野 孝	桜ヶ丘
YK写真工房賞	渚夕照	草野 喜雄	中央台
小百合賞（街磐植	光 彩	増井 俊一	平
カメラのキタムラ賞	湖上に映える	根本 隆意	内郷御台境町
カメラの矢吹賞	Breakwater	安藤 強	郷ヶ丘
いわき写真協会賞	ふるさと情景	高萩 泰義	鹿島町米田
イタリアンレストランテラツァ賞	神 秘	長谷川 清夫	四倉町
株式会社 源 太 賞	Maquillage	吉田 暁欧	平下神谷
//	夕ぐれの舞	横山 龍雄	平下神谷
ミモザギャラリー賞	怒る木	江尻 敏子	平北神谷
ガスワン賞（常磐共同ガス株式会社）	思い出の集落	小野 優	北茨城市大津町
ひまわり信用金庫賞	Red	太田 昭子	小名浜
ハニーズ賞（株式会社ハニーズホールディングス）	桜 舞	武田 貴彦	平赤井
//	音 色	葛原 博昭	中央台

普及事業
移動美術館
(アートキャラバン2019)

アートを活用し、活気と潤いのある日常環境を提案するアウトリーチ事業。年齢を問わず、気軽に楽しめるワークショップやセミナー・プログラムを持参し、希望者の集う市内施設を巡る。色彩体験、工作、美術鑑賞、発声や発音に焦点を当てた音声学講座など11種のプログラムを準備して希望者を募り、全33回735人の参加者を得た。

開催日	講師	会場(参加団体)	講座名(内容)
5月8日 7月4日 7月6日 7月23日 8月2日 9月6日	森 絵留 (盛名劇団 かもめ主宰)	中之作区民会館(ことぶき学級) 飯野公民館(さわやか女性セミナー) 国際交流協会(日本語講座) セリオス遊学館(小学生) 小川学童クラブ(小学生) 磐崎公民館(女性セミナー)	声とことばのワークショップ 音声学に挑戦 音声学とは、日本語を音楽的にとらえ、ことばの旋律や発声法などを研究する楽しい学問。「雨」と「鈴」や「橋」と「端」と「箸」などのように同じ読み方でもそれぞれ違うメロディで区別して発音し意味の違いを判断していることなど、何気なく声に出していることばの不思議を一緒に声を出しながら気づき確認する体験講座。
展覧会を10倍楽しむ方法 企画展ごとに展覧会担当がその展覧会の見どころや楽しみ方、関連事業などについて紹介。			
5月16日 5月22日 6月27日 8月22日 9月19日 10月10日 11月20日 11月28日	当館学芸員	セミナー室(飯野公民館市民講座) 川部中学校(中学生) セミナー室(飯野公民館市民講座) セミナー室(飯野公民館市民講座) セミナー室(飯野公民館市民講座) セミナー室(飯野公民館市民講座) 夏井公民館(高齢者学級) セミナー室(飯野公民館市民講座)	「蜷川実花展—虚構と現実の間に—」 「蜷川実花展—虚構と現実の間に—」 「見て・考えて・表現して 体験!いわ美」 「サラ・ベルナルの世界展」 「ニューアートシーン・イン・いわき 菅野博子展」 「パナソニック汐留美術館所蔵 ジョルジュ・ルオー展」 「光ミュージアム所蔵 美を競う 肉筆浮世絵の世界」 「光ミュージアム所蔵 美を競う 肉筆浮世絵の世界」
6月13日 9月14日 9月25日 10月11日 11月14日 11月15日	山本伸樹 (美術家)	久之浜公民館(高齢者学級) 飯野公民館(キラキラ探検隊) 玉川会館(高齢者学級) 江名公民館(女性学級) 夏井公民館(市民講座) 磐崎公民館(女性セミナー)	“福興だるま”に願いを込めて! 福島県の復興のシンボルとして“福興だるま”の制作を続ける美術家に福島のだるまの歴史や絵付けを学びながら自分だけの“福興だるま”を作る。
6月14日	当館学芸員	錦公民館(レディスセミナー)	色・再発見～日常に生かす色彩の力 身の回りの色彩が秘めている不思議な特徴や効果について、わかりやすい日用例から考察したり、美術館の所蔵品を「色で楽しむ」鑑賞法などを紹介。
7月2日 8月1日 8月28日 9月12日 11月14日	当館学芸員	平第二小学校(支援学級) セリオス遊学館(小学生) 神谷公民館(女性セミナー) 好間公民館(女性セミナー) 夏井公民館(女性セミナー)	岩絵具で遊んじゃおう 顔彩や岩絵具など、日本画用の絵の具を使ったぬりえ体験。未就学児から高齢者までだれでも気軽にチャレンジできる。



アートキャラバン「声とことばのワークショップ 音声学に挑戦」(中之作区民会館)



アートキャラバン「“復興だるま”に願いを込めて!」(豊間公民館)



アートキャラバン「切り絵・切り紙の楽しい世界」(大浦公民館)

開催日	講師	会場(参加団体)	講座名(内容)
7月12日	当館学芸員	山田公民館(豊齢者大学)	切り絵・切り紙の楽しい世界 紙を複数枚重ねて、図柄に合わせて切り彫りすることで立体的な表現ができる3D切り絵やハサミを用いて幅広い年代が楽しめるアイヌ文様切り紙など、基礎から応用まで、参加者の理解度に合わせてレベルを変え飽きの来ない体験を提供。
7月25日	当館学芸員	小川公民館(下三坂サロン)	
7月30日	当館学芸員	内郷老人福祉センター(高齢者)	
10月10日	当館学芸員	大浦公民館(女性セミナー)	
10月5日	当館学芸員	鹿島公民館(中学生)	世界にひとつだけのグラスアート ルーターを使ってガラスに模様を彫り込み、自分だけのガラス作品を仕上げる。型紙シールを使った簡単な方法から自分で模様を考えて描くものまで自由に体験できる。
11月20日	当館学芸員	小名浜公民館(小名浜西幼稚園保護者会)	
12月11日	当館学芸員	総合教育センター(チャレンジホーム)	ペットボトル工作を楽しもう 身近にあるペットボトルをハサミで切ったり編んだりして小物入れなどを作る。

普及事業 講演会

展覧会の開催に併せて、出品作品やその背景の理解を深めるために専門の講師を招き開催。セミナー室でスライドを使った講義形式や作品を前にした作家との直接対話形式など、参加者の興味をひく内容となるような環境設定に配慮し実施した。

日時	講師	講座名(内容)	会場
8月4日	白田由樹 (大阪市立大学大学院文学研究科准教授)	聖なる怪物サラ・ベルナール：女優の歴史と大衆メディア サラ・ベルナルの世界展に併せて開催。日本では数少ないサラ・ベルナル研究者の一人である講師が、長年の研究から導き出した知見に基づき、サラ・ベルナルの人となり、またサラの人生を豊かにした交友関係などについて論じた。	セミナー室
9月7日	菅野博子 (作家)	菅野博子展アーティスト・トーク ニューアートシーン・イン・いわき菅野博子展に併せて開催。作品を前に作家が自作について語り、また、参加者の積極的な質問に作家が答えるという双方向のトークとなった。	1階ロビー
9月21日	森 直義 (修復家、森絵画保存修復工房代表)	アトリエのルオー ジョルジュ・ルオー展に併せて開催。修復家の仕事全般についてや修復の観点から見たルオー作品の面白さを解説。	セミナー室
11月17日	鈴木浩平 (美術史家、美を競う肉筆浮世絵の世界展監修者)	肉筆浮世絵で味わう美人画の魅力 美を競う肉筆浮世絵の世界展に併せて開催。肉筆画に描かれる美人画の分類、特徴、意味などを時代背景や浮世絵の発達などをあわせながら解説。	セミナー室



アートキャラバン「岩絵具で遊んじゃおう」(平第二小学校)



アートキャラバン「世界にひとつだけのグラスアート」(小名浜公民館)



アートキャラバン「ペットボトル工作を楽しもう」(総合教育センター)

普及事業 美術講座

展覧会鑑賞の一助として、また、様々な美術の情報の提供を目的として当館学芸員が講師となり開催。

日時	講師	講座名(内容)	会場
7月5日	当館館長	館長講座「《死》の西洋絵画を巡って」	セミナー室
8月9日	当館学芸員 中嶋邦夫 (ジュエリー作家)	ティーチャーズ・ミュージアム 市内の幼稚園、小学校、中学校、高等学校の教職員を対象に開催。企画展、常設展の鑑賞のあと、9月以降の企画展や普及活動について紹介した。また、同時期開催の実技講座講師のジュエリー作家中嶋邦夫によるエマイユについての講義もプログラムとした。	常設展示室、 企画展示室、 セミナー室
9月28日	当館館長	館長講座「野獣らしくない野獣たち」	セミナー室
11月30日	当館館長	館長講座「《水浴図》あれこれ」	セミナー室
2月23日	当館館長	館長講座「富を求めるのは可能性の保存のため—美術館をつくったアメリカの大富豪たち」	セミナー室

普及事業 ギャラリー・トーク

作品鑑賞の一助として、常設展では毎週土曜日に定期開催。企画展では、土曜日、日曜日を中心に開催。また、団体などの要望に応じて随時開催した。

日時	講師	講座名(内容)	会場
毎週土曜日	通年 (19回)	常設展ギャラリートーク 毎週土曜日午後2時から常設展で定期開催。	常設展示室
7月27日	当館学芸員	ギャラリートーク サラ・ベルナル展に併せて開催。	企画展示室
10月5日	当館学芸員	やさしいギャラリートーク ジョルジュ・ルオー展に併せて開催。	企画展示室
随時	通年 (21回)	企画展団体解説 学校行事での来館、その他団体見学の際の要望に応じて随時開催。	常設展示室、 企画展示室



美術講座「ティーチャーズ・ミュージアム」



ワークショップ「デザインワークを体験してみよう！」



ワークショップ「2019 夏“美術館的”自由研究のススめ」

普及事業 ワークショップ

企画展に合わせた内容で、また、美術館的自由研究のススメや収蔵作家ワークショップなど恒例の取り組みで、美術の枠にとらわれない幅広い表現活動について専門の講師を中心に参加者の自主性に多くを委ねる形で実施。

日時	講師	講座名(内容)	会場
7月20日～ 7月21日	清水淳子 (デザイナー、グラフィックレコーダー、多摩美術大学情報デザイン学科専任講師)	デザインワークを体験してみよう！ サラ・ベルナルの世界展に併せて開催。プロデューサーとしても才能を発揮したサラ・ベルナルに因み、「もっと行ってみたいくなるいわき市立美術館」をデザインすることに挑戦。デッサン法やコミュニケーション法のトレーニングのち、二日間のグループ活動で各々の「美術館」を構想し、発表した。	セミナー室、 企画展示室
8月3日～ 8月4日	当館学芸員	2019夏“美術館的”自由研究のススメ バックヤードツアーや展覧会鑑賞の後、各自決定したテーマに沿って美術館的な研究を進めた。小学生から60代まで幅広い参加があり、美術そして美術館への理解を楽しく深めた二日間となった。	常設展示室、 企画展示室、 実技講習室
8月10日 8月11日	中嶋邦夫 (ジュエリー作家、ニックス・ファクトリー代表)	エマイユの煌き Aコース、Bコース、Cコース サラ・ベルナルの世界展に併せて開催。アール・ヌーヴォーの華として絶賛されたルネ・ラリックのジュエリー制作の手法「エマイユ」を小さなペンダントづくりで体験。Aコースはバスタイクによる「葛の葉」、Bコースはプリカジュールによる「バラ窓」、Cコースはバスタイクとプリカジュールの混合技法による「トンボ」に取り組んだ。	実技講習室、 セミナー室
10月27日	宮島達男(現代美術家)	「時の海—東北」タイム設定ワークショップ 宮島達男の作品《時の海—東北》の制作の一環として開催されたワークショップ。参加者によって41個の数字LEDのタイム設定が行われた。	1階ロビー
11月23日	梶塚宏之 (日本茶インストラクター・リーダー) 高原あかね (1級和裁士、日本茶アドバイザー)	和の美を楽しむ 美を競う肉筆浮世絵の世界展に併せて開催。古裂を使った市松模様の和風額絵を制作のち、静岡、宇治、八女の三大名産地の玉露を用いた試飲やお茶占いなど、手仕事や味覚・嗅覚をととして日本の美意識を堪能。午前、午後2回開催。	1階ロビー
1月5日～ 1月26日	当館スタッフ	かんたん！版画 体験コーナー いわき市小中学生版画展に併せて開催。フロッタージュやエンボス技法などの版画技法を自由に体験できるコーナーを設置。多くの参加者が思い思いに作品を制作を楽しんだ。	2階ロビー
1月18日～ 1月19日	瀬畑 亮 (セロテープアート作家)	わくわくアートスクール みんなのセロテープ工作 いわき市小・中学生版画展に併せて開催。講師の作品を鑑賞の後、新聞紙とセロテープを使い各自自由に制作を進めた。材料のセロテープは、全てテープメーカーニチバン株式会社の協賛。(各日2回、全4回開催)	セミナー室
2月23日～ 2月24日	黒川弘毅 (彫刻家、武蔵野美術大学教授)	収蔵作家ワークショップ「彫刻を楽しもう！」(美術館) 恒例の収蔵作家によるワークショップを黒川弘毅を講師として開催。彫刻について、その保存についてのスライドレクチャーの後、常設展示室で作家の作品をはじめとした彫刻作品を鑑賞。さらに、ヘンリー・ムーア《横たわる人体 手》のワックス塗りを体験。2日目はブロンズ制作の工程について学んだ後、直接蠟型彫刻の第一段階である蠟による造形を楽しんだ。	常設展示室、 実技講習室



「時の海—東北」タイム設定ワークショップ



ワークショップ「和の美を楽しむ」



ワークショップ「わくわくアートスクール みんなのセロテープ工作」

日時	講師	講座名(内容)	会場
2月25日	黒川弘毅 (彫刻家、武蔵野美術大学教授)	収蔵作家ワークショップ「彫刻を楽しもう！」(湯本第一小学校) 小学校の玄関前にあるブロンズ彫刻の洗浄とワックスがけを体験し、普段あまり意識していなかった彫刻作品を身近に感じ、鑑賞する楽しさ、大切に保存する心を共有した。	湯本第一小学校

普及事業 実技講座

開催中の展覧会に関連したプログラムや美術館ならではのプログラムなど、普段なかなか体験する機会がない技法や表現方法の体験から自身の表現へと繋げる内容で実施した。

日時	講師	講座名(内容)	会場
5月11日、 5月18日	上遠野真人 (写真家)	フォトレッスン「センスアップ写真術」 2日間の連続講座。初日はカメラの機能や初歩的なテクニックを学び、実際に撮影。2日目は簡単で安くできる自宅での展示法を体験したのち、各自が持参した作品を、講師のアドバイスをもらいながら鑑賞。	セミナー室
6月15日～ 6月16日	玉田多紀 (造形作家)	「ダンボール造形で タマゴからうまれた生き物づくり」 体験！いわ美展に合わせて開催。参加者は、講師が用意したダンボールのタマゴを見て、そこから生まれてくるものを発想し、ダンボールと木工用ボンドで思い通りの生き物を制作。(各日2回、全4回開催)	セミナー室・ 実技講習室
8月20日	大久保草子 (木版画家)	「いわき市小・中学生版画展 関連講座 大久保草子の木版画入門ー発想を広げながら彫り進めるー」 版画展の関連講座として市内の小・中学校教職員を対象とした木版画講座を開催。木版画の彫り、刷りなど基礎的な工程を学ぶとともに、講師の発想を広げながら彫り進めていくスタイルも体験し、木版画を制作した。	実技講習室
12月14日～ 12月15日	財田翔悟 (日本画家)	「日本画材で美人画を描こう」 光ミュージアム所蔵 美を競う肉筆浮世絵の世界展に合わせて開催。展示中の作品を2点取り上げ、日本画の基本的な技法を使って色紙サイズの模写作品1点を制作。	実技講習室

普及事業 公開制作

あまり目にする事ののない作家の作品制作の過程を紹介する。

日時	講師	講座名(内容)	会場
8月24日	高田洋一 (美術家・彫刻家)	「修復を終えた『翼Ⅳ』と再会しよう！ー作家による組み立て解説会&風と遊ぶワークショップ」 作家による『翼Ⅳ』の組み立ての工程の公開。その後、作家指導のもとヒラヒラと舞い降りる「不思議のタネ」を制作する。	2階ロビー



収蔵作家ワークショップ「彫刻を楽しもう！」
(美術館)



収蔵作家ワークショップ「彫刻を楽しもう！」
(湯本第一小学校)



実技講座「フォトレッスン センスアップ写真術」

普及事業 映像鑑賞会

映像ソフト（DVD など）の利用により、主に企画展に関連した映像鑑賞会。本年度は未開催。

日時	講師	講座名(内容)	会場
(本年度は、映像鑑賞会は未開催。)			

普及事業 コンサート＆ パフォーマンス

時代とともに多様化する表現芸術を企画展、常設展と関連づけながら多角的に紹介する。美術と異ジャンルの積極的なかわりが生み出す相乗効果を体感しながら、さまざまな時代の雰囲気や垣間見れる機会となれるよう心がけている。

日時	講師	講座名(内容等)	会場
4月21日	んまつーボス (児玉孝文、みのわ そうへい、豊福彬文)	〜んまつーボス×美しい仮象〜ダンス・パフォーマンス「偽闘」 クリエイティブ・ダンス・ユニット「んまつーボス」による「蜷川実花展」開催にあわせた創作ダンス。緊張感あふれる大胆な身体表現の合間に小さなボクサー人形を闘わせるコミカルなシーンが織り込まれ、「偽闘」の意味に気づかされるとともに大いに笑いを誘った。	企画展示室 エントランスホール
8月10日	ジャン・パーカー フィンチ (舞踊家、オイリュ トミー) ジョイス・トー (サウンドアーティスト) 和合亮一(詩人)	パフォーマンス「福島ー新しい光をさがして」 オーストラリアにおけるオイリュトミー・ダンスの第一人者、若手パーカッショニスト、詩人の三者によるコラボレーション。一週間ほど福島に滞在して接した風景や歴史、伝統、人々の暮らしに込められた思い、さまざまな音などをテーマに即興作品を発表。県内での三人の取材、制作風景を記録した映像作品の上映や関係者によるトークも同時開催。	1階ロビー
1月13日	馬喰町バンド 武鉄太郎 (ギター、六線、唄) 織田洋介 (ベース、唄) 服部正嗣 (パーカッション、唄)	馬喰町バンドの春を祝うコンサート「おめでとう春！」 成人の日に合わせて、新しい春、新しい出発、そして、美術と音楽との新しい出会いを祝い喜ぶことをコンセプトに馬喰町バンドのオリジナル曲を紹介。メンバーは、作品との出会いも意識して、それぞれを見ると作品もいっしょに目に入る位置にスタンバイ。無国籍風な心地よいメロディと唄の数々をいっしょに歌ったり、踊って楽しむ来場者もいて春を祝うにふさわしい時間となった。	常設展示室
1月26日	HARO (足長ウォーキングアク ト) 森田智博 (ジャグリング)	大道芸がやってくる！ しばしばサーカスを題材としたルオーにちなみジョルジュ・ルオー展関連イベントとして10月に開催予定だったが、令和元年東日本台風のため延期して実施した。1時間の公演のうち、前半は風にたなびく衣装をまとった足長の妖精HAROが館内外を練り歩き、後半は森田が1階ロビーにてコミカルで美しいジャグリングを披露した。午前11時、午後2時の2回実施。	企画展示室 1、2階ロビー



実技講座「ダンボール造形で タマゴからうまれた生き物づくり」



実技講座「大久保草子の木版画入門」



実技講座「日本画材で美人画を描こう」

普及事業 出版

● THE GALLERY =いわき市立美術館ニュース

当館のニュースとして「THE GALLERY」を2回発行した。

No. 68 (2019年9月25日発行)

- ・いわき市立美術館の普及事業 その5 美術館をデザインするワークショップ (普及係長 植田玲子)
- ・企画展紹介 パナソニック汐留美術館所蔵 ジョルジュ・ルオー展 (学芸員 太田紋乃)
- ・企画展紹介 ニューアートシーン・イン・いわき 菅野博子展 (副館長 杉浦友治)
- ・企画展紹介 光ミュージアム所蔵 美を競う肉筆浮世絵の世界展 (学芸員 柴田百合子)
- ・展示室から (主任学芸員 江尻英貴)
- ・裏方だより (学芸員 徳永祐樹)
- ・常設展示室から (学芸係長 竹内啓子)
- ・コレクション—この1点 柄澤齊《肖像Ⅶ シャルル・ボードレール》 (学芸員 徳永祐樹)

・今後の主な展覧会事業のご案内

No. 69 (2020年3月31日発行)

- ・アリオス×市立美術館 「眼差しの先で」 (学芸員 太田紋乃)
- ・企画展紹介 亀倉、ウォーホル、リクテンスタイン…
現代美術のアスリートたち—所蔵オリンピックポスターによる (学芸員 徳永祐樹)
- ・企画展紹介 ストラスブール美術館展—印象派からモダンアートへの眺望— (学芸員 太田紋乃)
- ・企画展紹介 Next World—夢みるチカラ
タグチ・アートコレクション×いわき市立美術館 (普及係長 植田玲子)
- ・企画展紹介 リサ・ラーソン展—創作と出会いをめぐる旅— (主任学芸員 江尻英貴)
- ・裏方だより 新型コロナウイルスに翻弄された「市美展」 (学芸員 柴田百合子)
- ・常設展示室から (学芸係長 竹内啓子)
- ・コレクション—この1点 高松次郎《点》 (特任学芸員 平野明彦)
- ・今後の主な展覧会事業のご案内



●いわき市立美術館年報

平成30年度年報 B5判 71ページ

●展覧会図録等

ニューアートシーン・イン・いわき 菅野博子展 A4判 巻き3つ折り (6ページ)

亀倉、ウォーホル、リクテンスタイン… 現代美術のアスリートたち—所蔵オリンピックポスターによる

鑑賞ガイド A4判 2つ折り (4ページ)



公開制作「修復を終えた『翼Ⅳ』と再会しよう！
—作家による組み立て解説会&風と遊ぶワーク
ショップ」



コンサート & パフォーマンス「～んまつーボス
×美しい仮象～ダンス・パフォーマンス〈偽闘〉」



コンサート & パフォーマンス「福島—新しい光
をさがして」

普及事業
実技講習室
の公開

実技講座参加者を対象に講座で学んだ技法をさらに深めるために場所と備品を開放。木版画、銅版画などの版画制作の利用があった。

日時	講師	講座名(内容等)	会場
4月～		実技講座参加経験者による自己研鑽補助、実技相談等	実技講習室

普及事業
図書室の公開

午前9時30分から午後5時まで(7、8月の金曜日は午後8時まで)、室内閲覧に限り図書室を公開している。貸出業務は行っていない。展覧会図録など図書室で公開していない資料類についても、利用者の申し出により閲覧できる。

また、常設展・企画展開催時には、鑑賞の一助になるよう関連図書を会場内の一箇所に配置している。

普及事業
実習生の
受け入れ

■博物館実習

7月23日(火)～8月4日(日)にかけて、学芸員資格取得を目的とする博物館実習を行い、成城大学、大正大学、文教大学より3名の実習生を受け入れた。なお実習期間中、10年経験者研修の一環として平支援学校2名、富岡支援学校1名、いわき支援学校1名を受け入れた。

■インターンシップ(職場体験学習)

市内の中学校・高等学校の要請を受け、生徒の勤労への理解・関心を深め、職業観の形成や職業選択の一助となることを目的としたインターンシップ(職場体験学習)を行った。

9月11日(水)	平第三中学校	4名
9月19日(木)	中央台北中学校	2名
10月1日(火)～10月3日(木)	好間高等学校	3名



コンサート＆パフォーマンス「いわきアリオス×いわき市立美術館連携事業「眼差しの先で」」



コンサート＆パフォーマンス「馬喰町バンドの春を祝うコンサート「おめでとう春！」」



コンサート＆パフォーマンス「大道芸がやってくる！」

月 日	講 師 等	講 座 名	共 催 先	会 場
4月13日	蜷川実花 (写真家、映画監督) 後藤繁雄 (編集者、クリエイティブ・ ディレクター)	蜷川実花×後藤繁雄 スペシャルトーク	いわき芸術文化交流館アリオス	いわき芸術文化 交流館アリオス 大ホール
9月7日～ 9月8日	いわき美術協会会員	裸婦デッサン会	いわき美術協会、 いわき市立美術館友の会	企画展示室
9月16日	カンパニーデラシネラ	いわきアリオス×いわき市立美術館連携 事業「眼差しの先で」	いわき芸術文化交流館アリオス	いわき芸術文化 交流館アリオス、 いわき市立美術館
2月9日	石川大湊、田久芳崖、 鈴木花泉、谷津彤雲、 井戸川保子	第49回市美展「書の部」招待作家による 作品解説会	いわき市市民美術展覧会運営委員会	企画展示室
2月16日	書の部招待作家、磐城 高等学校書道部	第49回市美展「書の部」招待作家による席 上揮毫&高校生による書道パフォーマンス	いわき市市民美術展覧会運営委員会	2階ロビー、 1階ロビー
2月22日	絵画・彫塑の部招待作 家	第49回市美展「絵画・彫塑の部」招待作家 による入選作品批評会	いわき市市民美術展覧会運営委員会	企画展示室



共催事業「第49回市美展「書の部」招待作家による作品解説会」



共催事業「第49回市美展「書の部」招待作家による席上揮毫&高校生による書道パフォーマンス」



共催事業「第49回市美展「絵画・彫塑の部」招待作家による入選作品批評会」

所 蔵 資 料

- A. 美術作品収蔵状況
- B. 美術作品貸出状況
- C. 資料の購入等に関する状況

A. 美術作品収蔵状況

年度	購 入		寄 贈		移管	計	寄 託	
	点数	備 考	点数	備 考	点数	点数	点数	備 考
昭55年	68		10		0	78	1	一色智嘉子《CHU》
56	115		337	宝船 312 点	0	452	1	大平華泉《白河城跡》
57	75		26		0	101		
58	357		67	資料 3 点含む	5	429		
59	54		27		4	85		
60	53		37		0	90		
61	23		105		7	135		
62	7		22		0	29		
63	21		8		0	29		
平成元	11		9		2	22	2	北郷悟《ERA》(寝台に横たわる人)
2	17		28	資料 2 点含む	0	45	49	
3	10		5		0	15	1	舟越桂《静かな奇襲》
4	9		9		0	18		
5	9		0		0	9		
6	5		4		0	9		
7	7		4		0	11		
8	7		2		0	9		
9	11		1		0	12	12	田口安男
10	28		6		0	34		
11	8		37		0	45	-43	松田松男 5 点及び中村一美 1 点《道元》また H 2 年度寄託作品 49 点返却
12	11		23		0	34		
13	8		22		0	30	-1	中村一美《道元》(同年受贈)
14	8		1		0	9		
15	12		42		0	54	2	中村一美《織桑鳥 V》(北奥千丈)
16	33		13		0	46		
17	17		8		0	25		
18	3		1		0	4		
19	0		3		0	3	-1	大平華泉《白河城跡》(返却)
20	0		30		0	30	14	イケムラレイコ 13 点、河口龍夫 1 点
21	0		1		0	1		
22	0		0		0	0		
23	0		40	資料 9 点含む	0	40	-12	田口安男作品(平成 9 年度寄託作品受贈)
24	0		116		0	116		
25	0		18		0	18		
26	0		22		0	22	-1	中村一美《北奥千丈》(返却)
27	0		14		0	14		
28	0		157		0	157		
29	0		29		0	29		
30	0		22	資料 2 点含む	0	22	-1	舟越桂《静かな奇襲》(返却)
令和元	0		5		0	5		
計	987		1,311		18	2,316	23	

B. 美術作品貸出状況

作家名	作品名	貸出先	貸出期間	目的(展覧会名)
ブリジット・ライリー	ラー	スコットランドナショナルギャラリー (エジンバラ) ヘイワードギャラリー (ロンドン)	2019年5月22日～ 2020年2月5日	ブリジット・ライリー展
鈴木新夫	長沢節の肖像	喜多方市美術館	2019年9月18日～ 11月6日	長沢節展 会津の長澤 昇から憧れのセツへ
パブロ・ピカソ	闘牛	群馬県立館林美術館	2019年9月21日～ 12月14日	ピカソ展 ゲルニカ〔タビスリ〕を めぐって
パブロ・ピカソ	槍			
パブロ・ピカソ	槍を突いた後			
北郷悟	ark	東京藝術大学大学 美術館	2019年11月2日～ 11月19日	呼吸する彫刻 退任記 念 北郷悟展
北郷悟	Como			
北郷悟	眠りの街			
北郷悟	寝台に横たわる人(寄託作品)			
岡崎乾二郎	あかさかみつけ#2	豊田市美術館	2019年11月6日～ 2020年3月4日	岡崎乾二郎 視覚のカイ ソウ
岡崎乾二郎	あかさかみつけ#10			
岡崎乾二郎	あかさかみつけ#11			
岡崎乾二郎	あかさかみつけ#12			
岡崎乾二郎	あかさかみつけ#17			

C. 資料の購入等に関する状況

●図書資料

	購 入			受 贈			計
	図 書	図録・目録	館報・紀要	図 書	図録・目録	館報・紀要	
平成26年度まで	5,158	175	6	2,651	18,823	5,276	32,089
平成27年度	9	3	0	73	468	210	763
平成28年度	26	0	0	76	367	173	642
平成29年度	99	1	0	59	323	178	660
平成30年度	27	1	0	246	437	186	897
令和元年度	4	0	0	96	645	157	902
計	5,323	180	6	3,201	21,063	6,180	35,953

●映像資料

	購 入								受 贈				計
	CD	DVD	ビデオ テープ	LD	フィルム	スライド	カセット テープ	CD-R	CD	DVD	CD-R	その他	
平成26年度まで	23	75	245	51	11	16	0	0	82	72	1	62	155
平成27年度	1								10	15			26
平成28年度										9	2		11
平成29年度										1	4		5
平成30年度									1	2	1	2	6
令和元年度									2	2	1		5
計	24	75	245	51	11	16	0	0	95	101	9	64	691

D. 令和元年度新収蔵作品

凡 例

1. この目録には、令和元年度のいわき市立美術館新収蔵作品を収録した。
2. 作品の分類は、平面作品Ⅰ（直接技法に基づくもの）、平面作品Ⅱ（間接技法に基づくもの：版画等）、平面作品Ⅲ（ポスター、写真等）、立体作品、映像・その他。
3. 各作品のデータは以下の通り。

整理番号／作者名（生没年）
 作品名
 制作年
 技法・材質
 寸法
 サインの位置及び年記
 最初の発表展覧会及び受賞歴
 収蔵の経緯
 登録番号

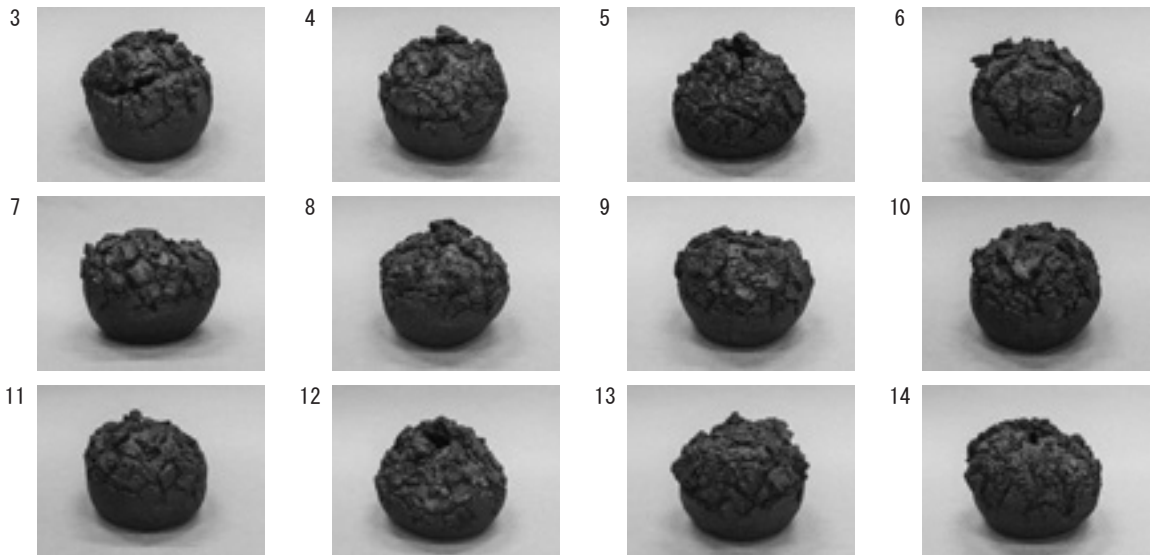
4. 作家名は分類ごとに日本人作家と外国人作家に大別し、日本人作家は五十音順に、外国人作家は姓のアルファベット順に配列した。
5. 制作年は、作品に明記されているもの、及び制作事情の明確なものに限って記載した。
6. 寸法は、センチメートルを単位として、平面作品では画面の縦×横、立体作品では高さ×幅×奥行きとした。

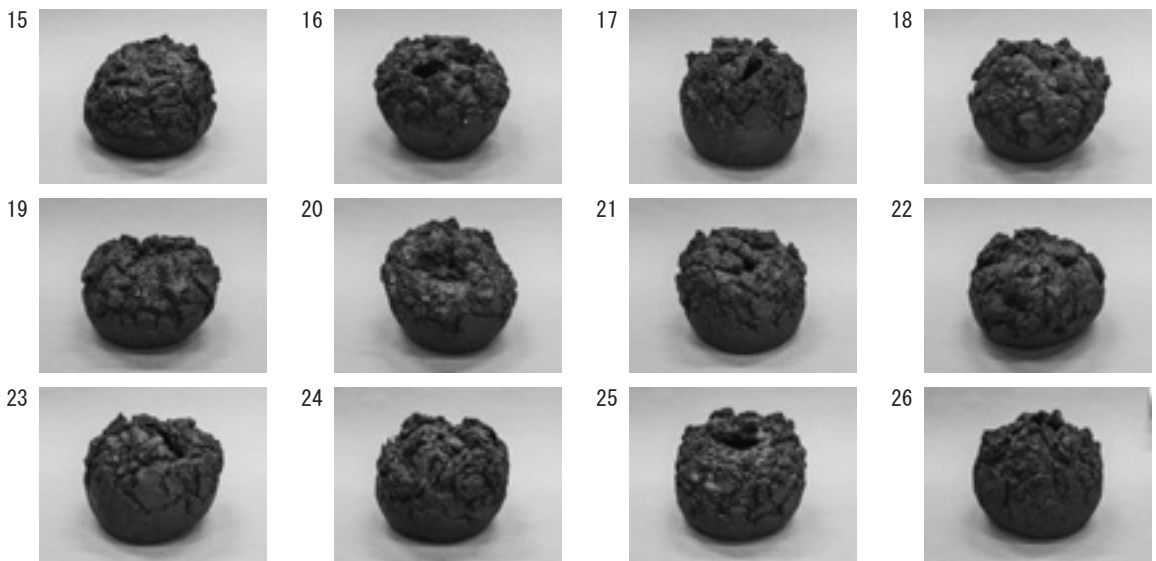
【令和元年度 収蔵作品分類】

平面作品Ⅰ	0 点
平面作品Ⅱ	0 点
平面作品Ⅲ	0 点
立体作品	5 点
映像・その他	0 点
資料	0 点
計	5 点

〈立体作品〉

1. 緑川宏樹（1938-2010）
 はぜるQ体（M氏の系図）
 1983
 陶
 長径11～18（26点）
 受贈 緑川志保
 第4回北関東美術展（栃木県立美術館 1983年）
 いわきの美術Ⅳ（いわき市立美術館 1999年）
 2019-1



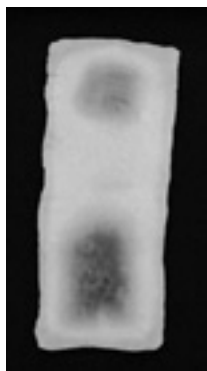


2. 緑川宏樹 (1938-2010)
裂
1988頃
陶
長径20
受贈 緑川志保
2019-2

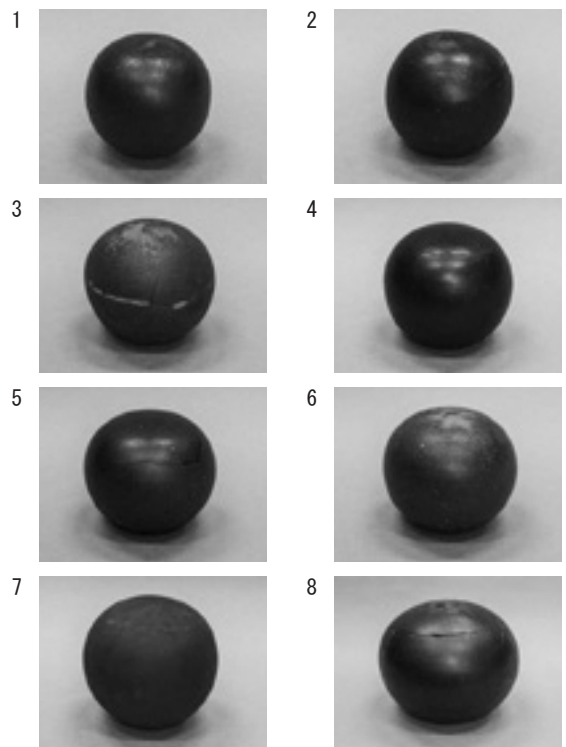
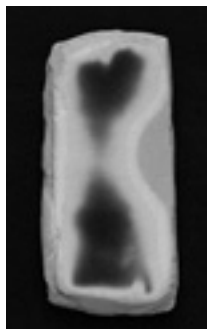


3. 緑川宏樹 (1938-2010)
題不詳 (8点)
1988頃
陶
長径10~19.5
受贈 緑川志保
2019-3

4. 緑川宏樹 (1938-2010)
うすら
薄 (1)
1990頃
陶
72.5×30×0.6
受贈 緑川志保
個展“うすら”
(武蔵野画廊 1991年)
2019-4



5. 緑川宏樹 (1938-2010)
うすら
薄 (2)
1990頃
陶
67×30.5×8
受贈 緑川志保
2019-5



いわき市立美術館条例

昭和58年12月27日 いわき市条例第58号

(設置)

第1条 美術に関する市民の知識及び教養の向上を図り、市民文化の発展に寄与するため博物館法（昭和26年法律第285号。第10条において「法」という。）第18条の規定により、美術館を設置する。

(名称及び位置)

第2条 美術館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
いわき市立美術館	いわき市平字堂根町4番地の4

(事業)

第3条 いわき市立美術館（以下「美術館」という。）は、その目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- (1) 美術作品その他の美術に関する資料(以下「美術作品等」という。)を収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 美術に関する調査及び研究を行うこと。
- (3) 美術に関する展覧会、講演会、講習会、映写会等を開催すること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、美術館の設置の目的を達成するために必要な事業

(観覧料)

第4条 美術館の常設展（美術作品等の常設展示をいう。以下同じ。）を観覧しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。ただし、美術館の特別展（常設展以外の展示をいう。以下同じ。）と併せて観覧する場合又は国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）第2条に規定する国民の祝日において観覧する場合は、この限りでない。

- 2 特別展を観覧しようとする者は、別表第2に定める額の範囲内において、市長が定める観覧料を納付しなければならない。

(撮影等の許可及び料金)

第5条 学術研究等のため、美術館に展示され、又は保管されている美術作品等の写真撮影、模写又は模造等しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

- 2 前項の許可を受けた者は、別表第3に定める撮影等料金を納付しなければならない。

(観覧料等の免除)

第6条 市長は、次の各号の一に該当すると認めるときは、観覧料（常設展に係るものに限る。）又は撮影等料金を免除することができる。

- (1) 外国人留学生が、福島県の実施する外国人留学生文化施設等無料観覧制度に基づき観覧するとき。
- (2) 国又は地方公共団体が行う教育、学術又は文化に係る事業の用に供するため撮影等をするとき。

(観覧料等の不返還)

第7条 既納の観覧料又は撮影等料金は、返還しない。ただし、市長は、災害その他不可抗力により、観覧又は撮影等をするのができなくなったときは、既納の観覧料又は撮影等料金を返還することができる。

(入館の制限)

第8条 教育委員会は、美術館に入館しようとする者又は入館している者が次の各号の一に該当すると認めるときは、入館を制限し、又は館外へ退館させることができる。

- (1) 他人に危害を加え、又は迷惑を及ぼすおそれがあるとき。
- (2) 施設、設備又は美術作品等を損傷するおそれがあるとき。

(3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の管理に支障があると認めるとき。

(賠償責任)

第9条 入館者は、施設、設備又は美術作品等を損傷し、又は滅失したときは、教育委員会の指示するところに従い、その損害を賠償し、又はこれを原状に回復しなければならない。ただし、市長は、相当の理由があると認める場合は、その全部又は一部を免除することができる。

(美術館協議会)

第10条 法第20条第1項の規定に基づき、いわき市立美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

2 協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が委嘱する。

3 協議会は、委員15人以内で組織する。

4 協議会の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

5 協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

(委任)

第11条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

この条例は、昭和59年4月28日から施行する。ただし、第1条から第3条まで、第10条及び第11条の規定は、昭和59年4月1日から施行する。

(略)

附 則（平成25年12月26日いわき市条例第67号）

この条例は、平成26年4月1日から施行する。

別表第1（第4条関係）

区 分	観 覧 料	
	個 人	団 体
一 般	220円	170円
高 校 生、高 等 専 門 学 校 生、大 学 生	150円	120円
小 学 生、中 学 生	70円	50円

備考 団体とは、20人以上をいう。

別表第2（第4条関係）

区 分	観 覧 料	
	個 人	団 体
一 般	1,500円	1,200円
高 校 生、高 等 専 門 学 校 生、大 学 生	740円	590円
小 学 生、中 学 生	440円	350円

備考 団体とは、20人以上をいう。

別表第3（第5条関係）

区 分		料 金	
写 真 撮 影	モ ノ ク ロ ー ム	1点1回につき	1,650円
	カ ラ ー	1点1回につき	3,300円
模 写、模 造		1点1日につき	2,200円
熟 覧、拓 本		1点1回につき	220円

備考 1 ^{びょう}屏風は、1双を1点とする。
2 1そろいの卷子（巻物をいう。）は、1巻を1点とする。
3 対幅は、1幅を1点とする。
4 撮影は、同一作品について原板3枚以内を1回とする。

いわき市立美術館管理規則

昭和59年3月31日 いわき市教育委員会規則第6号

(趣旨)

第1条 この規則は、いわき市立美術館条例（昭和58年いわき市条例第58号。以下「条例」という。）の規定に基づき必要な事項を定めるものとする。

(組織)

第2条 いわき市立美術館（以下「美術館」という。）に、次の課及び係を置く。

庶務課 庶務係

学芸課 学芸係、普及係

(事務分掌)

第3条 課の事務分掌は、次のとおりとする。

庶務課

- (1) 公印の保管に関すること。
- (2) 予算の経理に関すること。
- (3) 美術館の維持管理に関すること。
- (4) 観覧料及び撮影等料金の徴収に関すること。
- (5) 統計に関すること。
- (6) 美術館協議会に関すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、学芸課の所掌に属しない事務に関すること。

学芸課

- (1) 美術作品等の収集、保管及び展示に関すること。
- (2) 美術に関する専門的な調査研究に関すること。
- (3) 展覧会、研究会、講演会、映写会等の開催に関すること。
- (4) 美術に関する案内書、解説書、目録等の刊行に関すること。
- (5) 美術作品等の利用に関する助言及び指導に関すること。
- (6) 美術作品等の寄贈及び寄託に関すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、学芸事務に関すること。

(職及び職務)

第4条 美術館に館長、副館長、課に課長、係に係長を置き、必要に応じ、参事、主幹、主任主査、専門学芸員、主査、主任学芸員、事務主任、主事、学芸員、主任運転手及び運転手を置く。

- 2 館長は、上司の命を受け、館務を掌理し、所属職員を指揮監督する。
- 3 参事は、上司の命を受け、美術館の事務に関する企画及び調整に参画する。
- 4 副館長は、館長の職務遂行を補佐し、館長に事故があるときは、その職務を代理する。
- 5 主幹は、上司の命を受け、館長が定める特定の事務を掌理する。
- 6 課長は、上司の命を受け、課の事務を処理する。
- 7 係長は、上司の命を受け、係の事務を処理する。
- 8 主任主査は、上司の命を受け、館長が定める特定の事務を処理する。
- 9 専門学芸員は、上司の命を受け、館長が定める特定の専門的な事務を処理する。
- 10 主査は、上司の命を受け、美術館の事務の一部を分担処理する。
- 11 主任学芸員は、上司の命を受け、係の事務のうち特定の事務を処理する。
- 12 事務主任は、上司の命を受け、係の事務の一部を分担処理する。
- 13 主事は、上司の命を受け、事務をつかさどる。
- 14 学芸員は、上司の命を受け、専門的な事務を処理する。
- 15 主任運転手は、上司の命を受け、担任の自動車運転の業務を処理する。
- 16 運転手は、上司の命を受け、自動車運転の業務に従事する。

(休館日)

第5条 美術館の休館日は、次の各号に掲げる日とする。ただし、教育委員会は、必要があると認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。

(1) 月曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日に当たるときは、その日後のその日に最も近い休日でない日）

(2) 1月1日から同月4日まで及び12月28日から同月31日まで

(開館時間)

第6条 美術館の開館時間は、午前9時30分から午後5時（入館は、午後4時30分）までとする。ただし、毎年7月及び8月の金曜日については、午前9時30分から午後8時（入館は、午後7時30分）までとする。

2 教育委員会は、必要があると認めるときは、これを臨時に変更することができる。

(観覧券の交付)

第7条 条例第4条の規定により、観覧料を納付した者に対して観覧券（第1号様式）を交付しなければならない。

(撮影等の許可及び料金)

第8条 条例第5条第1項に規定する撮影、模写又は模造等（以下「撮影等」という。）をしようとする者は撮影等許可申請書（第2号様式）を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、撮影等を許可したときは、撮影等許可書（第3号様式）を交付する。

(観覧料等の減免)

第9条 条例第6条第2号又はいわき市障害者、高齢者及び児童生徒等の利用に係る公の施設の使用料の減免に関する条例（平成13年いわき市条例第56号）第5条第1項の規定により観覧料又は撮影等料金の減免を受けようとするときは、観覧料・撮影等料金減免申請書（第4号様式）を教育委員会に提出しなければならない。

2 教育委員会は、前項の規定による申請があった場合において、観覧料又は撮影等料金の減免を決定したときは、観覧料・撮影等料金減免通知書（第5号様式）を交付する。

(観覧料等の返還)

第10条 条例第7条の規定により観覧料又は撮影等料金の返還を受けようとする者は、その理由を記載した観覧料・撮影等料金返還申請書（第6号様式）を教育委員会に提出しなければならない。

(美術館協議会の会長及び副会長)

第11条 条例第10条に規定するいわき市立美術館協議会（以下「協議会」という。）に会長及び副会長各1人を置き、それぞれ委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、協議会を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第12条 協議会の会議は、会長が招集し、会長が会議の議長となる。

2 協議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

3 協議会の会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(事務処理及び服務)

第13条 美術館における事務処理及び服務については、いわき市教育委員会事務局処務規程（昭和47年いわき市教育委員会訓令第2号）に基づく事務処理及び服務の例による。

(委任)

第14条 この規則に定めるもののほか、この規則の施行に関し、必要な事項は、教育長が別に定める。

附 則

この規則は、昭和59年4月1日から施行する。ただし、第5条から第10条までの規定は、昭和59年4月28日から施行する。

(略)

附 則（平成22年3月31日いわき市教委規則第5号）

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

第 1 号様式（第 7 条関係）

その 1

常 設 展 観 覧 券	(切	常 設 展 観 覧 券
金 額 取	線	金 額
いわき市立美術館	この券をもって領収に代えます。	いわき市立美術館

その 2

特 別 展 観 覧 券	(切	特 別 展 観 覧 券	(切	常 設 展 観 覧 券
金 額 取	線	金 額 取	線	金 額 取
いわき市立美術館	この券をもって領収に代えます。	いわき市立美術館		いわき市立美術館

備考 1 寸法、デザイン等については、その都度定める。
2 観覧券の区分は、一般、高校生・高等専門学校生・大学生及び小学生・中学生とする。

第 2 号様式（第 8 条関係）

第 2 号様式（第 8 条関係）									
撮 影 等 許 可 申 請 書									
いわき市教育委員会殿									
年 月 日									
住所又は所在地									
氏名又は名称及び代表者									
電話 -									
美術作品の名称									
作者名									
点数									
日時 年 月 日 時 分から 時 分まで									
目的									
方法									
撮影 模写 模造 熟覧 拓本									
料 金	撮 影	モノクローム	点	円	計	円			
		カ ラ ー	点	円					
		模 写 ・ 模 造	点	円					
		熟 覧 ・ 拓 本	点	円					
館長 副館長 課長 係長 係									

第 3 号様式（第 8 条関係）

第 3 号様式（第 8 条関係）									
撮 影 等 許 可 書									
殿									
いわき市教育委員会									
下記のとおり撮影等を許可します。									
第 号 年 月 日許可									
美術作品の名称									
作者名									
点数									
日時 年 月 日 時 分から 時 分まで									
目的									
方法									
撮影 模写 模造 熟覧 拓本									
料 金	撮 影	モノクローム	点	円	計	円			
		カ ラ ー	点	円					
		模 写 ・ 模 造	点	円					
		熟 覧 ・ 拓 本	点	円					
指示事項									

第4号様式（第9条関係）

第4号様式（第9条関係）

観覧料 減免 申請書

撮影等料金

いわき市教育委員会

年 月 日

住所（所在地）

申請者 氏名（名称及び代表者氏名）

電話番号

担当者氏名

注意 太枠の中だけ記入してください。

観覧日時		撮影等日時	
年 月 日 時 分から 時 分まで		年 月 日 時 分から 時 分まで	
区 分	常設展	特別展	撮 影 等
一 般	人	人	写真撮影 モノクローム 点
高 校 生	人	人	カ ラ ー 点
高 等 専 門 学 校 生	人	人	模 写 ・ 模 造 点
大 学 生	人	人	熟 覧 ・ 拓 本 点
小 学 生	人	人	計 点
中 学 生	人	人	
計	人	人	計 点

減免申請の理由

☐減免する。

☐減免しない。

減免しない理由

償付すべき観覧料等 円

減免率

減免後の観覧料等 円

起 案 年 月 日

決 裁 年 月 日

施 行 年 月 日

許可番号 第 号

館長 副館長 課長 係長 係員

第5号様式（第9条関係）

第5号様式（第9条関係）

観覧料 減免 通知書

撮影等料金

様

年 月 日

いわき市教育委員会 印

申請年月日		許可番号	
年 月 日		第 号	
観覧日時		撮影等日時	
年 月 日 時 分から 時 分まで		年 月 日 時 分から 時 分まで	
区 分	常設展	特別展	撮 影 等
一 般	人	人	写真撮影 モノクローム 点
高 校 生	人	人	カ ラ ー 点
高 等 専 門 学 校 生	人	人	模 写 ・ 模 造 点
大 学 生	人	人	熟 覧 ・ 拓 本 点
小 学 生	人	人	計 点
中 学 生	人	人	
計	人	人	計 点

減免率

減免率

減免後の観覧料

減免後の撮影等料金

第6号様式（第10条関係）

第6号様式（第10条関係）

観覧料 返還 申請書

撮影等料金

いわき市教育委員会殿

下記のとおり 観覧料 撮影等料金 の返還を受けたいので申請します。

年 月 日

注 太枠線のみ記入してください。

申請者

住所又は所在地

氏名又は名称及び代表者

電話番号

第 号 年 月 日許可

申請理由

既納観覧料等

観覧料 枚 円

撮影料等 枚 円

返還申請金額 円

館長 副館長 課長 係長 係

事業経過報告

令和2年3月31日現在

展 覧 会 名		開催期間 (日数)	料 金						入場者数										元 年 度 計
			一 般			団 体			一 般			団 体			招待	無料			
			一般	高大	小中	一般	高大	小中	一般	高大	小中	一般	高大	小中					
常 設 展	伝統からの脱却1960年代の動向 Ⅰ平成30年度新収蔵作品を中心に 4/2～6/23 Ⅱ収蔵作家セクションVol. 1 高松次郎 6/25～9/23	4/2～9/23 153日間	210	150	70	170	110	50	211	13	5	11	0	0	466	12,035	12,741		
	彫刻との語らい Ⅰ収蔵作家セクションVol. 2 中西夏之／村上友晴 9/25～12/22 Ⅱ収蔵作家セクションVol. 3 鈴木新夫／若松光一郎 12/24～3/31	9/25～3/31 155日間 ※令和元年10月 1日に観覧料を 改定	210	150	70	170	110	50	291	21	5	10	0	0	244	3,145	3,716		
	※	※	※	※	※	※													
常 設 展 計 (A) 308日間									502	34	10	21	0	0	710	15,180	16,457		
企 画 展	蜷川実花展—虚構と現実の間に—	4/13～5/26 39日間	1,100	500	300	880	400	240	12,987	495	607	411	3	0	1,085	7,251	22,839		
	見て、考えて、表現して 体験！ いわ美 ～コレクションによるアートプログラ ム～	6/8～7/7 26日間	400	200	100	320	160	80	339	4	18	46	0	0	64	932	1,403		
	パリ世紀末 ベル・エポックに咲 いた華 サラ・ベルナールの世界展	7/20～9/1 39日間	800	400	200	640	320	160	1,824	108	63	89	0	0	248	2,569	4,901		
	パナソニック汐留美術館所蔵 ジョルジュ・ルオー展	9/14～10/27 38日間	800	400	200	640	320	160	1,009	32	12	112	0	0	239	1,816	3,220		
	光ミュージアム所蔵 美を競う 肉筆浮世絵の世界	11/9～12/15 32日間	800	400	200	640	320	160	1,428	24	9	227	0	0	586	3,079	5,353		
	ニューアートシーン・イン・いわき 菅野博子展	9/7～10/20 38日間	無 料												3,311	3,311			
	いわき市小・中学生版画展	1/5～1/26 19日間	無 料												3,444	3,444			
	第49回いわき市民美術展覧会 (書の部)	2/7～2/16 9日間	無 料												975	975			
	(絵画・彫塑の部)	2/21～3/1 9日間	無 料												1,687	1,687			
	(陶芸の部・写真の部)	3/6～3/15 9日間	無 料												1,306	1,306			
	亀倉、ウォーホル、リクテンスタイン… 現代美術のアスリートたち ——所蔵オリンピック・ポスターによる	3/17～3/31 13日間	無 料												300	300			
企 画 展 計 (B)									17,587	663	709	885	3	0	2,222	26,670	48,739		
展 覧 会 事 業 計 (A+B)									18,089	697	719	906	3	0	2,932	41,850	65,196		
普 及 事 業 計																4,737	4,737		
合 計									18,089	697	719	906	3	0	2,932	46,587	69,933		

令和元年度普及事業報告

令和2年3月31日現在

事業名	内 容 等	講 師 等	月 日	人数
移動美術館	アートキャラバン2019（全33回）			
	展覧会を10倍楽しむ方法	当館学芸員（8回）	5月16日～11月28日	225
	声とことばのワークショップ 音声学に挑戦	森絵留（盛名劇団かもめ主宰）（6回）	5月8日～9月6日	154
	“復興だるま”に願いを込めて！	山本伸樹（美術家）（6回）	6月13日～11月15日	111
	色・再発見～日常に生かす色彩の力	当館学芸員（1回）	6月14日	18
	岩絵具で遊んじゃおう	当館学芸員（5回）	7月2日～11月14日	111
	切り絵・切り紙の楽しい世界	当館学芸員（4回）	7月12日～10月10日	78
	世界にひとつだけのガラスアート	当館学芸員（2回）	10月5日、11月20日	23
	ペットボトル工作を楽しもう	当館学芸員（1回）	12月11日	15
小 計				735
講演会	聖なる怪物サラ・ベルナル：女優の歴史と大衆メディア	白田由樹（大阪市立大学大学院文学研究科准教授）	8月4日	31
	菅野博子展アーティスト・トーク	菅野博子（作家）	9月7日	40
	講演会「アトリエのルオー」	森直義（修復家、森絵画保存修復工房代表）	9月21日	11
	講演会「肉筆浮世絵で味わう美人画の魅力」	鈴木浩平（美術史家、本展監修）	11月17日	29
小 計				111
美術講座	館長講座	当館館長	全4回（7月5日、9月28日、11月30日、2月23日）	63
	ティーチャーズ・ミュージアム	中嶋邦夫（ジュエリー作家）、当館学芸員	8月9日	8
小 計				71
ギャラリー・トーク	常設展ギャラリートーク	当館学芸員	毎週土曜日（19回開催）	51
	サラ・ベルナル展ギャラリートーク	当館学芸員	7月27日	27
	ルオー展 やさしいギャラリートーク	当館学芸員	10月5日	25
	団体解説	当館学芸員	通年20回	707
小 計				810
ワークショップ	デザインワークを体験してみよう！	清水淳子（デザイナー、グラフィックレコーダー、多摩美術大学情報デザイン学科専任講師）	7月20日～7月21日	18
	2019夏“美術館の”自由研究のスヌメ	当館学芸員	8月3日～8月4日	5
	エマユの煌き Aコース	中嶋邦夫（ジュエリー作家、ニックス・ファクトリー代表）	8月10日	10
	エマユの煌き Bコース	中嶋邦夫（ジュエリー作家、ニックス・ファクトリー代表）	8月10日	11
	エマユの煌き Cコース	中嶋邦夫（ジュエリー作家、ニックス・ファクトリー代表）	8月11日	10
	「時の海—東北」タイム設定ワークショップ	宮島達男（現代美術家）	10月27日	41
	和の美を楽しむ	梶塚宏之（日本茶インストラクター・リーダー）、高原あかね（一級和裁士、日本茶アドバイザー）	11月23日	14
	かんたん！版画 体験コーナー	当館スタッフ	1月5日～1月26日	1,134
	わくわくアートスクール みんなのセロテープ工作	瀬畑亮（セロテープアート作家）	1月18日～1月19日	56
	収蔵作家ワークショップ「彫刻を楽しもう！」（美術館）	黒川弘毅（彫刻家、武蔵野美術大学教授）	2月23日～2月24日	8
	収蔵作家ワークショップ「彫刻を楽しもう！」（湯本1小）	黒川弘毅（彫刻家、武蔵野美術大学教授）	2月25日	71
小 計				1,378
実技講座	フォトレッスン「センスアップ写真術」	上遠野真人（写真家）	5月11日、5月18日	26
	ダンボール造形で タマゴから生まれた生き物づくり	玉田多紀（造形作家）	6月15日～6月16日	34
	大久保草子の木版画入門（小・中学生版画展関連講座）	大久保草子（木版画家）	8月20日	6
	日本画材で美人画を描こう	財田翔梧（日本画家）	12月14日～12月15日	15
小 計				81
公開制作（公開講座）	修復を終えた《翼Ⅳ》と再会しよう！—作家による組み立て解説会&風と遊ぶワークショップ	高田洋一（美術家・彫刻家）	8月24日	26
小 計				26
映像鑑賞会				
小 計				-
コンサート & パフォーマンス	へんまつーボス×美しい仮面～ダンス・パフォーマンス「偽闘」	へんまつーボス（クリエイティブ・ダンス・ユニット）	4月21日	150
	パフォーマンス「福島—新しい光をさがして」	ジャン・ペーカーフィンチ（舞踊家・オリエントミ）、ジョイス・トー（サウンドアーティスト）、和合亮一（詩人）	8月10日	100
	馬喰町バンドの春を祝うコンサート「おめでとう春！」	馬喰町バンド	1月13日	85
	大道芸がやってくる！	HARO（足長ウォーキングアクト）、森田智博（ジャグリング）	1月26日	160
小 計				495
実技講習室開放	実技講座修了者による自己研鑽補助、実技相談など		通年（17回）	48
小 計				48
共催事業	蛭川実花×後藤繁雄 スペシャルトーク	蛭川実花（写真家、映画監督）、後藤繁雄（編集者、クリエイティブ・ディレクター）	4月13日	526
	裸婦デッサン会	いわき市立美術館友の会、いわき美術協会	9月7日～9月8日	46
	いわきアリオス×いわき市立美術館連携事業「眼差しの先で」	カンパニーデラシネラ	9月16日	108
	第49回市美展「書の部」招待作家による作品解説会	いわき市美展運営委員会 書の部	2月9日	51
	第49回市美展「書の部」招待作家による席上揮毫&高校生による書道パフォーマンス	書の部招待作家、磐城高等学校書道部	2月16日	200
	第49回市美展「絵画・彫塑の部」招待作家による入選作品批評会	絵画・彫塑の部招待作家	2月22日	51
小 計				982
合 計				4,737

令和元年度美術館費当初予算

(単位：千円)

項 目			金 額
人	件	費	64,204
管	理	費	94,464
	施 設 管 理	費	93,823
	作 品 購 入	費	
	施 設 整 備	費	641
事	業	費	72,649
	企 画 展 事 業	費	67,843
	常 設 展 事 業	費	1,420
	教 育 普 及 事 業	費	2,992
	調 査 研 究	費	394
	彫刻のある街づくり事業	費	0
計			231,317

- A. 美術館協議会委員
B. 美術品選定評価委員会委員
C. 美術館職員

A. 美術館協議会委員

任期：平成30年4月1日～令和2年3月31日

役職	氏 名	職 業 (役職名)
委 員	井上 直美	一般社団法人いわき観光まちづくりビューロー 会長
委 員	三室千鶴子	いわき女性の会 会長
委 員	坂本美知子	株式会社いわき市民コミュニティ放送 放送制作部係長
委 員	江尻 敏昭	いわき美術協会 事務局長
委 員	鳥海陽太郎	いわき地域学会 幹事
委 員	飯野 光長	いわき青年会議所 副理事長
委 員	相沢とし子	国際ソロプチミストいわき 会長
委 員	織田 千代	美術家
委 員	草野 怜子	美術家
委 員	峰 丘	いわき市立美術館友の会 顧問
委 員	鈴木 廣美	いわき市小学校教育研究会図画工作部会 部長
委 員	野地かおる	いわき市中学校教育研究会美術専門部会 部長
委 員	土屋 裕子	福島県高等学校教育研究会美術工芸専門部会 いわき支部長
委 員	鎌田真理子	医療創生大学 心理学部教授
委 員	松田 文子	いわき市子ども会育成会連絡協議会 事務局長

【博物館法】

第21条 博物館協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行うもの並びに学識経験を有する者の中から当該博物館を設置する地方公共団体の教育委員会が任命する。

B. 美術品選定評価委員会委員

任期：平成30年4月1日～令和2年3月31日

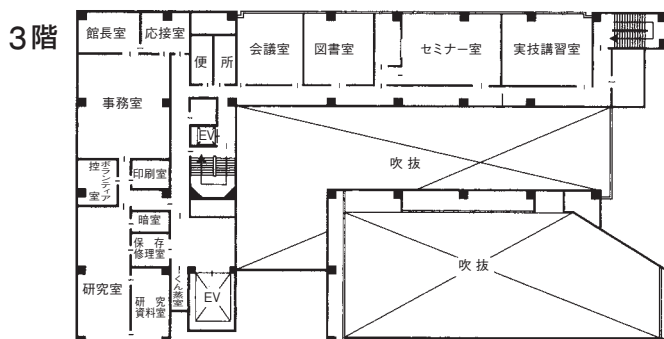
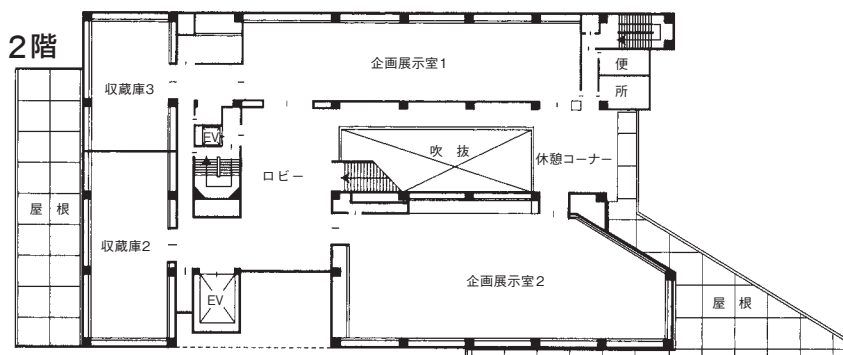
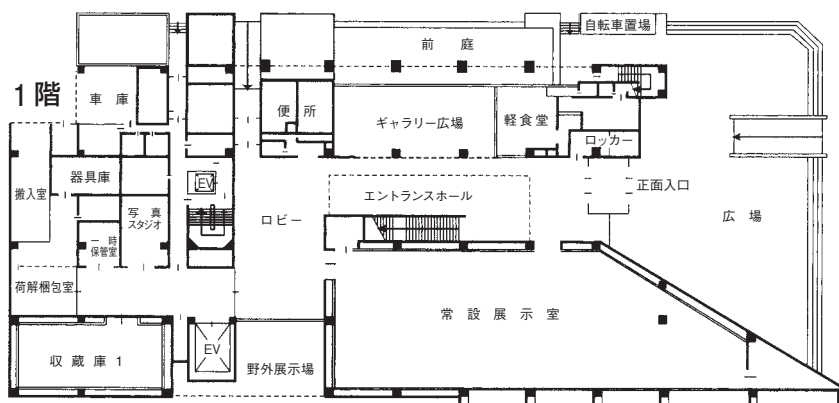
役職	氏 名	職 業 (役職名)
	谷 新	美術評論家
委員長	北郷 悟	彫刻家 東京藝術大学学長特別補佐・教授
副委員長	清水 真砂	世田谷美術館分館長
	小勝 禮子	美術評論家
	荒木 康子	福島県立美術館学芸課長
	大谷 省吾	東京国立近代美術館美術課長

C. 美術館職員

平成31年4月1日現在

	職 名	氏 名
	館 長 (嘱託)	佐々木 吉 晴
	副 館 長 (事)	杉 浦 友 治
《庶務課》	主 幹 (兼) 課 長(事)	阿 部 恵 子
○ 庶務係	係 長 (兼)	阿 部 恵 子
	主 査	鈴 木 ちひろ
	事 務 主 任	鈴 木 浩 美
《学芸課》	課 長 (兼)	杉 浦 友 治
	特 任 学 芸 員 (嘱託)	平 野 明 彦
○ 学芸係	係 長	秋 葉 啓 子
	学 芸 員	太 田 紋 乃
	学 芸 員	徳 永 祐 樹
○ 普及係	主任主査 (兼) 係長	植 田 玲 子
	主 任 学 芸 員	江 尻 英 貴
	学 芸 員 (再任用)	石 川 百 合 子

平 面 図



●開館時間

午前9時30分～午後5時（展示室への入場は午後4時30分まで）

7、8月の毎週金曜日は、夜8時まで開館。（展示室への入場は午後7時30分まで）

●休館日

毎週月曜日（ただし月曜日が祝日等の場合は開館し、翌日休館）

年末年始（12月28日～1月4日）

●観覧料

	常 設 展	企 画 展（その都度定める）
一 般	220円（170円）	1,500円（1,200円）以内
高・高専・大学生	150円（120円）	740円（590円）以内
小・中学生	70円（50円）	440円（350円）以内

※（ ）内は、20名以上の団体割引料金。

※企画展チケットで常設展もご覧になれます。

※令和元年10月1日に常設展の観覧料を改定。

●企画展・常設展が無料になる場合

- ・市内在住の65歳以上の方は、企画展・常設展無料
- ・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかをお持ちの方は、企画展・常設展無料
- ・土曜日、日曜日に限り、市内の小学校、中学校、高等学校、専修学校（高等課程）、高等専門学校に在学の方は、企画展・常設展無料
- ・祝日は、常設展無料

●図書室の利用時間

午前9時30分～午後5時

7月、8月の毎週金曜日は午後8時まで

●実技講習室の利用時間

午前9時30分～午後4時45分

7月、8月の毎週金曜日は夜7時45分まで

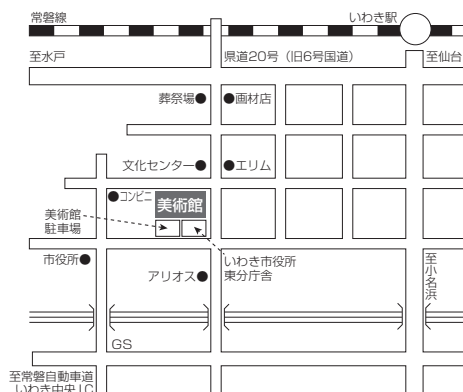
●交 通

JR常磐線、磐越東線いわき駅より徒歩12分

常磐自動車道、磐越自動車道いわき中央ICより10分

駐車場：美術館駐車場、他 いわき市公共駐車場

●地 図



令和元年度
いわき市立美術館年報

編集・発行
いわき市立美術館
〒970-8026 いわき市平字堂根町4-4

